

## 工事数量総括表

工事名	平成28年度 三才山トンネル有料道路 橋梁修繕工事 松本市 三才山 野間沢橋						事業区分	橋梁修繕
							工事区分	橋梁修繕
工事区分・工種・種別	細別	規 格 ・算 出 式	単 位	当初数量	変更数量		摘 要	
野間沢橋			L =	41				
橋梁修繕								
舗装版取壊し工								
	舗装版切断	t=10cm	m	66				
	舗装版掘削積込	直接掘削積込 t=10cm	m <sup>2</sup>	197				
路面切削工								
	路面切削工	橋面全面切削 t=4cm	m <sup>2</sup>	300				
	防水層切削工	As+防水層 混合切削 t=1cm	m <sup>2</sup>	300				
廃材運搬工								
	As取壊し殻運搬		m <sup>3</sup>	20			清水口建設 L=15.4km	
	切削廃材運搬		m <sup>3</sup>	12			〃	
	混合廃材運搬	AS+防水層 混合廃材	m <sup>3</sup>	3			〃	
処分費								
	処分費	As掘削廃材	t	45.3				
	処分費	As切削廃材	t	27.6				
	処分費	As+防水層	t	6.9				

## 工事数量総括表

工事名	平成28年度 三才山トンネル有料道路 橋梁修繕工事 松本市 三才山 野間沢橋						事業区分	橋梁修繕
							工事区分	橋梁修繕
工事区分・工種・種別	細別	規 格 ・算 出 式	単 位	当初数量	変更数量		摘 要	
床板補修工								
床板はつり工								
	コンクリートはつり工	ウォータージェットはつり 床板上部鉄筋から t=5cm	m <sup>2</sup>	300			発動発電機20/25kVA	
	排水処理工		m <sup>2</sup>	300				
	排水回収工		日	12				
	はつり面清掃工		m <sup>2</sup>	300				
廃材運搬工								
	沈殿汚泥運搬工	水槽2箇所	回	2			フロンティアスピリット L=33.1km	
	コンクリート殻運搬	既設床板コンクリート	m <sup>3</sup>	19			清水口建設 L=15.4km	
処分費								
	処分費	コンクリート汚泥	m <sup>3</sup>	4.5				
	処分費	無筋コンクリート殻	t	45.8				
床版コンクリート工								
	コンクリート床板	24-8-25H(W/C ≤ 55%) 膨張材含(デンカCSA相当)	m <sup>3</sup>	28				
	鉄筋防錆工	エマコス200相当	m <sup>2</sup>	203				



## 工事数量総括表

工事名	平成28年度 三才山トンネル有料道路 橋梁修繕工事 松本市 三才山 野間沢橋						事業区分	橋梁修繕
							工事区分	橋梁修繕
工事区分・工種・種別	細別	規 格 ・算 出 式	単 位	当初数量	変更数量		摘 要	
橋台補修工	A1橋台							
	コンクリートはつり	t=6cm	m <sup>2</sup>	18				
	コンクリート工	24-8-25BB(W/C≦55%)	m <sup>3</sup>	1				
	鉄筋防錆工	エマコス200相当	m <sup>2</sup>	10				
	下地処理工	新規コンクリート面 研掃	m <sup>2</sup>	18				
	表面保護工	シラン系含侵材 プロテクトシルCIT相当	m <sup>2</sup>	18				
廃材運搬工								
	コンクリート 取壊し殻運搬	無筋	m <sup>3</sup>	1				
処分費								
	処分費	無筋Con殻	t	2.5				
地覆補修工								
	地覆取壊し工	既設鉄筋残し 旧高欄撤去・積込作業含む	m <sup>3</sup>	16				
	コンクリート工	橋梁部(人力打設・型枠含む) 軽量コンクリート 24-8-15	m <sup>3</sup>	16				
	コンクリート工	橋台部(人力打設・型枠含む) 24-8-25BB(W/C≦55%)	m <sup>3</sup>	1				
	鉄筋防錆工	エマコス200相当	m <sup>2</sup>	24				

## 工事数量総括表

工事名	平成28年度 三才山トンネル有料道路 橋梁修繕工事 松本市 三才山 野間沢橋						事業区分	橋梁修繕
							工事区分	橋梁修繕
工事区分・工種・種別	細別	規 格 ・算 出 式	単 位	当初数量	変更数量		摘 要	
	目地工	瀝青目地板 t=10mm	m <sup>2</sup>	1.2				
廃材運搬工								
	コンクリート 取壊し殻運搬	無筋	m <sup>3</sup>	16				
処分費								
	処分費	無筋Con殻	t	36.8				
水切工								
	水切設置工	W=25 アイドリップ相当 既設水切間詰含む	m	81				
橋梁用防護柵								
	橋梁用高欄	H=850 B種 アルミ製 縦断勾配加工費含む	m	81				
現場発生品運搬								
	現場発生品運搬	既設高欄 4.1t クレーン付4t、2.9t吊	回	2			清水口建設 L=15.4km	
処分費								
	スクラップ	鉄くず、ヘビーH1	t	4.1				
伸縮装置取替工								
	鋼製伸縮装置取替 工(補修)	ハイブリッドジョイント S-40相当品	m	15.0				

## 工事数量総括表

工事名	平成28年度 三才山トンネル有料道路 橋梁修繕工事 松本市 三才山 野間沢橋					事業区分	橋梁修繕
						工事区分	橋梁修繕
工事区分・工種・種別	細別	規 格 ・算 出 式	単 位	当初数量	変更数量		摘 要
	伸縮装置付属品	地覆ジョイント 補強鉄筋	式	1			
	後打ちコンクリート	小型構造物 超速硬コンクリート $\sigma_{3h}=24\text{N/mm}^2$	m <sup>3</sup>	2			
廃材運搬工							
	現場発生品運搬	既設伸縮装置 3.0t クレーン付4t、2.9t吊	回	2			清水口建設 L=15.4km
	コンクリート 取壊し殻運搬	無筋	m <sup>3</sup>	2			清水口建設 L=15.4km
処分費							
	スクラップ	鉄くず ヘビー H1	t	3.0			
	処分費	無筋Con殻 既設後打ちコンクリート	t	5.3			
支承補修工							
	支承防錆工	金属溶射 反力150t以下	基	6			
	沓座モルタル補修	無収縮モルタル 25kg袋	kg	25			
排水管補修工	橋梁排水管						
	排水管設置	ステンレスφ150	m	14			
	排水管材料	材料費 ステンレスφ150	式	1			



## 工事数量総括表

工事名	平成28年度 三才山トンネル有料道路 橋梁修繕工事 松本市 三才山 野間沢橋					事業区分	橋梁修繕
						工事区分	橋梁修繕
工事区分・工種・種別	細別	規 格 ・算 出 式	単 位	当初数量	変更数量		摘 要
舗装工							
	不陸正整	補足材 t=3cm M-25	m <sup>2</sup>	197			
	基層工	粗粒度As20 t=5cm	m <sup>2</sup>	197			
	表層工	ポリマー改質Ⅱ型As20F t=5cm	m <sup>2</sup>	197			
	橋面舗装	ポリマー改質Ⅱ型As20F t=6cm	m <sup>2</sup>	300			
区画線工							
	ペイント式区画線	加熱式 白線 実線15cm 外側線	m	125			
	ペイント式区画線	加熱式 白線 破線15cm	m	132			
	ペイント式区画線	加熱式 黄線 実線30cm 中央線	m	70			
	色替え作業	白→黄色	回	1			
仮設工(任意)							
足場工							
床版足場	足場工	主体足場・中段足場 桁下1.5m以上 H=2.15m 供用月数4か月	m <sup>2</sup>	350			
	朝顔	両側朝顔 供用月数4か月	m <sup>2</sup>	350			
	板張防護工	両側朝顔 供用月数4か月	m <sup>2</sup>	350			



平成28年度

三才山トンネル有料道路橋梁修繕工事

松本市 三才山 野間沢橋

## 橋梁修繕数量計算書

長野県道路公社



床版補修工				
名 称	規 格	計 算 式	単 位	数 量
床版はつり工		排水槽(塩カル倉庫横2基 (5.0m*4.5m))		
	WJはつり 平均t=5cm	床板上筋下5cm $7.5*39.95=299.625$	m2	299.6
	排水処理工		m3	299.6
	排水回収工	$299.625/25m^2=11.985$	日	12.0
	はつり面清掃		m3	299.6
廃材運搬工	コンクリート殻運搬 (無筋)	土砂化3cm+WJ5cm-沈殿汚泥 $7.5*39.95*0.08=23.97-4.5=19.47$	m3	19.47
	沈殿汚泥	水槽5.0m 4.5m 沈殿槽0.10m 2箇所	回	2
処分費				
	コンクリート殻 処分費	$19.47*2.35=45.75$	t	45.8
	汚泥処分費	$5.0*4.5*0.10*2箇所=4.5m^3$	m3	4.5
床版補修工				
	コンクリート工 24-8-25H(W/C≤55%)	床板打ち替え $7.5*39.95*0.092=27.566$	m3	27.57
	膨張材入り デンカCSA	$27.566 \times 20Kg/m^3=551.32Kg$	Kg	551.3
	鉄筋防錆工 (既設鉄筋)	エマコ200相当 図面より0.676m <sup>2</sup> /m <sup>2</sup> $0.676*7.5*39.95=202.55$	m2	202.6
	鉄筋補強工 SD345 D19	施工実績より 0.005t/m <sup>2</sup> $0.005*299.6=1.498$	t	1.498
	金網鉄筋 D6 10×10	$7.5*39.95=299.625$	m2	299.6

下面補修工				
名 称	規 格	計 算 式	単 位	数 量
下面補修工	スーパーホゼン	図面より	m2	303.0
	注入材導入路設置工	300mm間隔	m	1050.4
	下地処理工	サンダーケレン	m2	303.0
	網鉄筋取付工	D6 50mm×50mm	m2	303.0
	アンカー設置工	テーパ付T型アンカー φ8×60	本	4080
	樹脂注入器具設置	φ8×60	本	1768.0
	防錆材塗布工	FMプライマー	m2	303.0
	ホゼン吹付工	中塗 t=18mm	m2	303.0
	樹脂注入工	超低粘度エポキシ樹脂	m2	303.0
	ホゼンコート塗布 表面仕上げ	耐蝕性ライニングコート材	m2	303.0
断面補修工				
床板下面	断面修復 左官工法	鉄筋防錆処理あり L=39.95 図面より 3.03m2*0.16m=0.182m3	m3	0.18
A2橋台	断面修復 左官工法	鉄筋防錆処理あり A2橋台 図面より 0.20m2*0.06m=0.012m3	m3	0.01
		0.182+0.012=0.194	m3	0.2
橋台補修工		図面より		
A1橋台	コンクリートはつり	はつり t=6cm	m2	17.7
	鉄筋防錆工	エマコス200相当	m2	10.4
	コンクリート工	24-8-25BB (W/C≤55%) 17.74*0.06=	m3	1.06
	下地処理工	新規コンクリートレイタンス研掃	m2	17.7
	表面保護工	シラン系含侵材塗布(プロテクトシルCIN相当)	m2	17.7
廃材運搬工				
	殻運搬	コンクリートはつり殻 無筋	m3	1.06
処分費				
	処分費	コンクリート殻 1.06*2.35=2.491	t	2.5

## 地覆補修・高欄取替・伸縮装置取替

名 称	規 格	計 算 式	単 位	数 量
地覆補修工		既設鉄筋の欠損部確認、状況により添筋を行う		
	コンクリート取壊し 無筋	既設鉄筋残し $(0.6*0.3)*(1.4+40.6+1.5)*2=15.66$	m3	15.66
	鉄筋防錆工	エマコス200相当 $40.6*2*0.294=23.873$	m2	23.9
	コンクリート工 橋台部	24-8-25BB ロス率0.05 $(0.6*0.322)*(1.4+1.5)*2=1.121*1.05=1.177$	m3	1.18
	コンクリート工 橋梁部	軽量コンクリート 24-8-15BB (W/C $\leq$ 55%) ロス率0.05 $(0.6*0.322)*40.6*2=15.688*1.05=16.472$	m3	16.47
	型枠	$(0.322+0.322)*(1.4+40.6+1.5)*2=56.028$	m2	56.0
	目地	$(0.6*0.322)*6箇所=1.159$	m2	1.2
廃材運搬	殻運搬	無筋 15.66	m3	15.7
	処分費	$15.66*2.35=36.80$	t	36.8
水切設置工				
	既設間詰工	ポリマーセメント $1/2*(0.03*0.02)*40.6*2=0.024$	m3	0.02
	水切設置工	軟質PVC アイドリップ相当品 $40.6*2=81.2$	m	81.2
防護柵取替工				
	アルミ高欄設置	B種 H=850mm $40.7+40.7=81.4$	m	81.4
	高欄撤去	地覆取壊しに含む		
	発生材運搬	鋼製(既設防護柵) 4.085t (旧図面より) クレーン付4.9t 2回	回	2.0
	スクラップ	鉄くず ヘビーH1 4.085t	t	4.1
伸縮装置取替工				
	伸縮装置取替	既設:鋼製フィンガー 取替:ハイブリッド S40相当 A1 L=7.51 A2 L=7.50 15.01m	m	15.0
	付属品	地覆用ジョイント、補強鉄筋 図面より	式	1.0
	後打コンクリート	超速硬コンクリート 3h 24N/mm 図面より	m3	2.27
	発生材運搬	既設伸縮運搬 3t クレーン付4.9t 1回	回	1.0
	殻運搬	無筋(既設後打ちコンクリート部) 2.274m3	m3	2.27
	スクラップ	鉄くず ヘビーH1 L=15.01*200kg/m =3002kg	t	3.0
	処分費	無筋(既設後打ちコンクリート部) $2.274*2.35=5.34t$	t	5.3







# 一般計算書

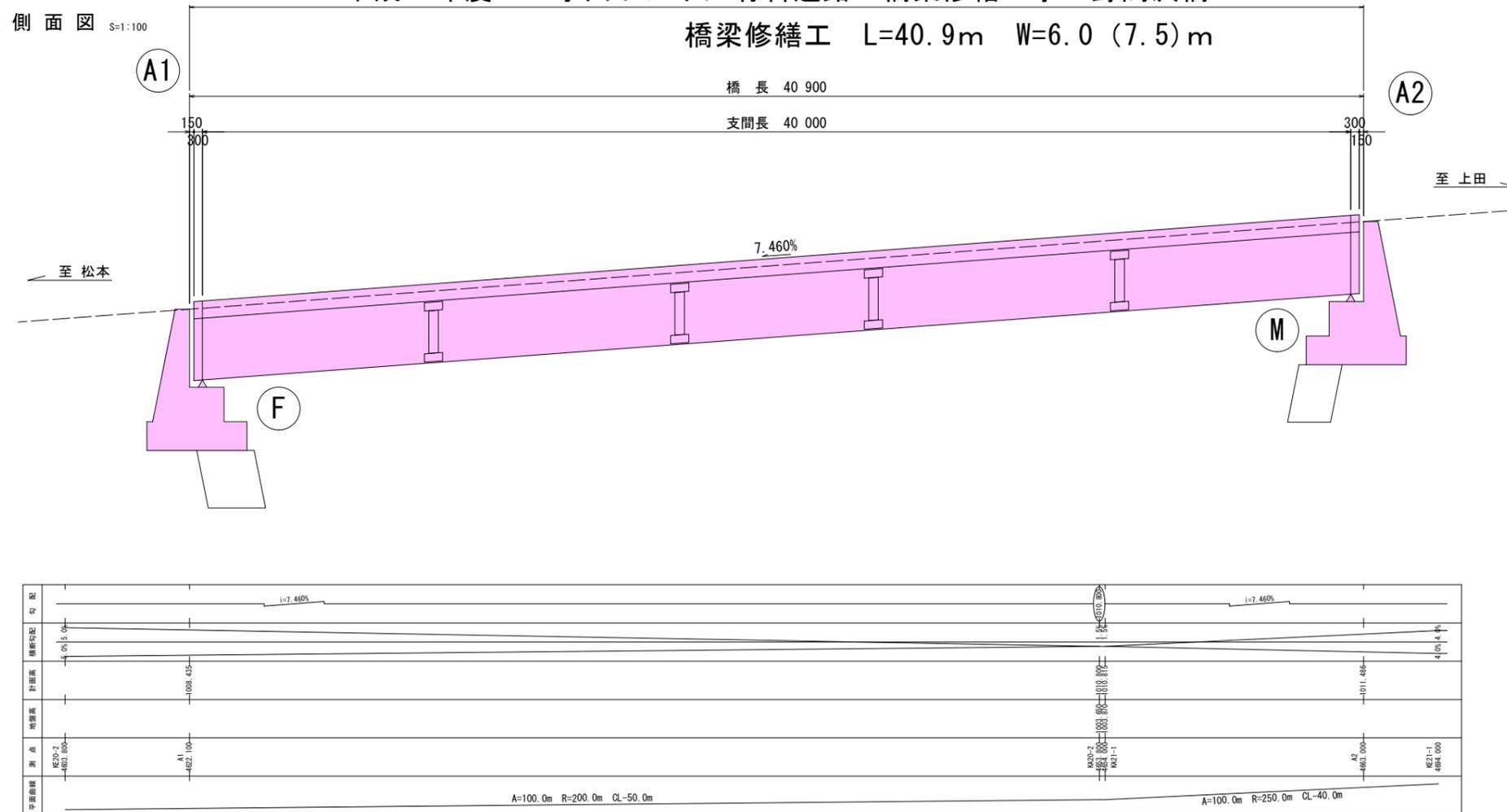
種 別：床版下面増厚工  
 ブロック：床版補修工  
 区 分：(A1-A2径間)

細別／規格	算 式 / 図	数 量
樹脂導入路設置工 カッター工 (深さ7~8mm)	中間床版 幅 $B=2.950m$ 張出し床版 幅 $B_s=0.800m$ (平均幅)  ① $L1= 40.400 \times 10$ (行/区間) $\times 2$ 区間 = 808.00 m ② $L2= 40.400 \times 3$ (行/区間) $\times 2$ 区間 = 242.40 m  $\Sigma L=808.00+242.40=1050.40$ m	1050.4 m
下地処理工 サンダーケレン	① $A1= 40.400 \times 2.950 \times 2$ 区間 = 238.36 m <sup>2</sup> ② $A2= 40.400 \times 0.800 \times 2$ 区間 = 64.64 m <sup>2</sup>  $\Sigma A=238.36+64.64=303.00$ m <sup>2</sup>	303.0 m <sup>2</sup>
網鉄筋取付工 D6×50mm, D6×50mm	① $A1= 40.400 \times 2.950 \times 2$ 区間 = 238.36 m <sup>2</sup> ② $A2= 40.400 \times 0.800 \times 2$ 区間 = 64.64 m <sup>2</sup>  $\Sigma A=238.36+64.64=303.00$ m <sup>2</sup>	303.0 m <sup>2</sup>
アンカー打設工 テーパー付きT型アンカー ネジ式 (φ8×60mm)	① $n1= 40.400 / 0.300$ (ピッチ) + 1 = 136 本 $N1= 136$ 本 $\times 11$ 列 $\times 2$ 区間 = 2992 本 ② $n2= 40.400 / 0.300$ (ピッチ) + 1 = 136 本 $N2= 136$ 本 $\times 4$ 列 $\times 2$ 区間 = 1088 本  $\Sigma N=2992+1088=4080$ 本	4080 本
樹脂注入器具 打設工 テーパー付きT型 (φ8×60Lmm)	① $n1= 40.400 / 0.600$ (ピッチ) + 1 = 68 本 $N1 = 68$ 本 $\times 5$ (列/区間) $\times 2$ 区間 = 680 本 $N1' = 68$ 本 $\times 5$ (列/区間) $\times 2$ 区間 = 680 本 ② $n2= 40.400 / 0.600$ (ピッチ) + 1 = 68 本 $N2 = 68$ 本 $\times 2$ (列/区間) $\times 2$ 区間 = 272 本 $N2' = 68$ 本 $\times 1$ (列/区間) $\times 2$ 区間 = 136 本  $\Sigma N=680+680+272+136=1768$ 本	1768 本

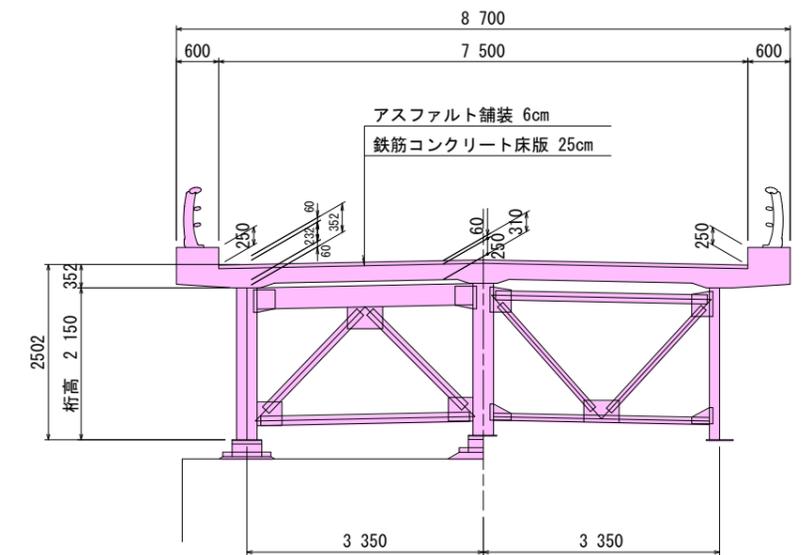
細別／規格	算 式 / 図	数 量
防錆材塗布工 プライマー	① $A1 = 40.400 \times 2.950 \times 2 \text{区間} = 238.36 \text{ m}^2$ ② $A2 = 40.400 \times 0.800 \times 2 \text{区間} = 64.64 \text{ m}^2$  $\Sigma A = 238.36 + 64.64 = 303.00 \text{ m}^2$	303.0 m <sup>2</sup>
ホゼン材 #10 吹付工 t=18mm	① $A1 = 40.400 \times 2.950 \times 2 \text{区間} = 238.36 \text{ m}^2$ ② $A2 = 40.400 \times 0.800 \times 2 \text{区間} = 64.64 \text{ m}^2$  $\Sigma A = 238.36 + 64.64 = 303.00 \text{ m}^2$	303.0 m <sup>2</sup>
ひび割れ注入工  超低粘度エポキシ 樹脂	① $A1 = 40.400 \times 2.950 \times 2 \text{区間} = 238.36 \text{ m}^2$ ② $A2 = 40.400 \times 0.800 \times 2 \text{区間} = 64.64 \text{ m}^2$  $\Sigma A = 238.36 + 64.64 = 303.00 \text{ m}^2$	303.0 m <sup>2</sup>
表面仕上げ工  ホゼン材 #1塗布 (コート材)	① $A1 = 40.400 \times 2.950 \times 2 \text{区間} = 238.36 \text{ m}^2$ ② $A2 = 40.400 \times 0.800 \times 2 \text{区間} = 64.64 \text{ m}^2$  $\Sigma A = 238.36 + 64.64 = 303.00 \text{ m}^2$	303.0 m <sup>2</sup>

平成28年度 三才山トンネル有料道路 橋梁修繕工事 野間沢橋

側面図 S=1:100



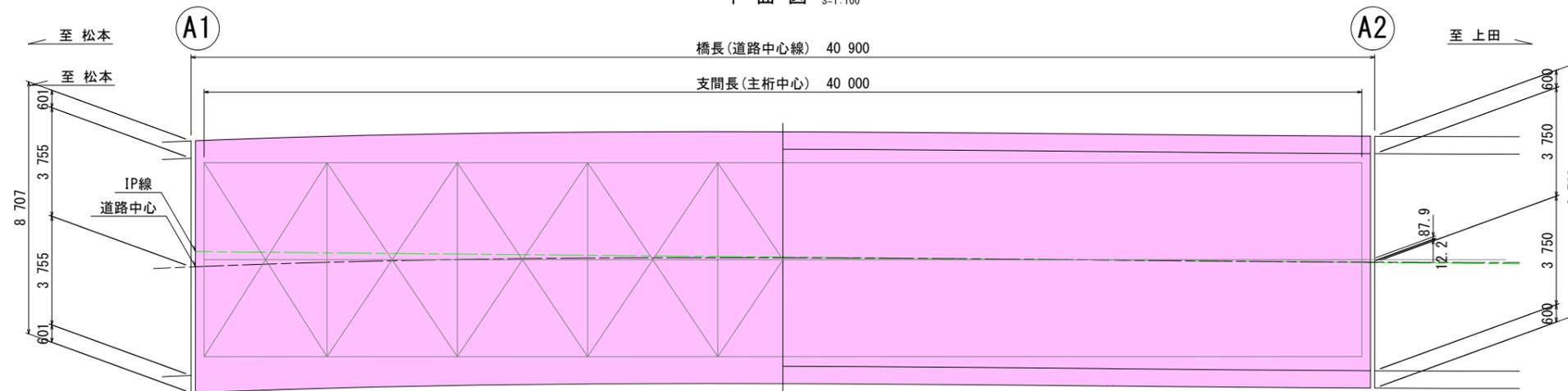
断面図 S=1:50



設計条件

型式	活荷重合成桁
橋格	1等橋 TL-20
橋長	40.9m
幅員	7.50m
縦断勾配	7.460%
示方書	道路橋示方書(昭和48年2月)
	建設省土木構造物標準設計(昭和47年8月)

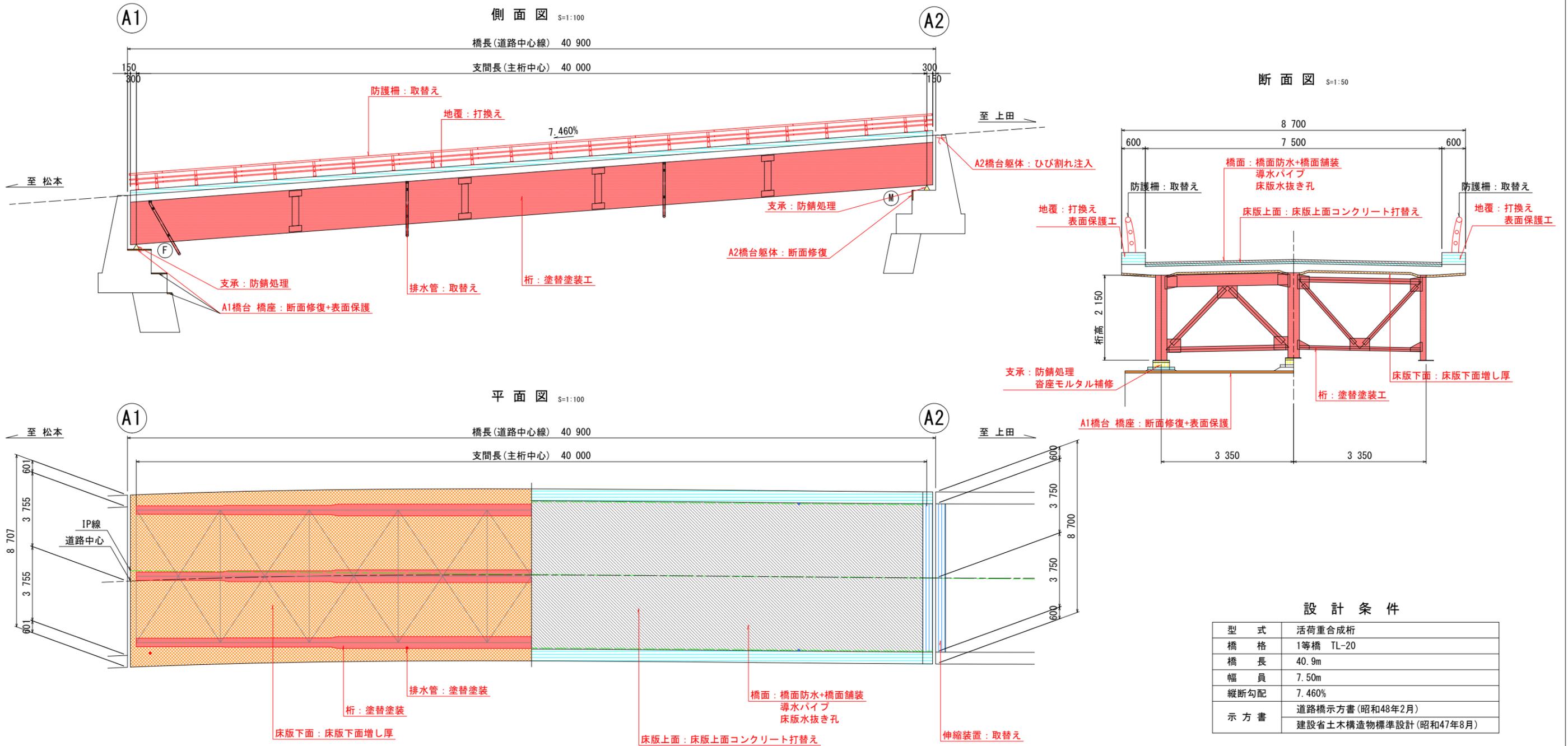
平面図 S=1:100



実施図

平成28年度 橋梁修繕工事			
番号	1/18	橋梁一般図	縮尺 図示
三才山トンネル有料道路(国道254号)			
松本市三才山 野間沢橋			
所長	課長	照査	設計
長野県道路公社			
設計会社	(株)エコーシステム	管理技術者	山崎 賢一
		照査技術者	西澤 正勝
		主任技術者	
		主任技術者	

# 野間沢橋 補修・補強工一般図



## 設計条件

型式	活荷重合成桁
橋格	1等橋 TL-20
橋長	40.9m
幅員	7.50m
縦断勾配	7.460%
示方書	道路橋示方書(昭和48年2月)
	建設省土木構造物標準設計(昭和47年8月)

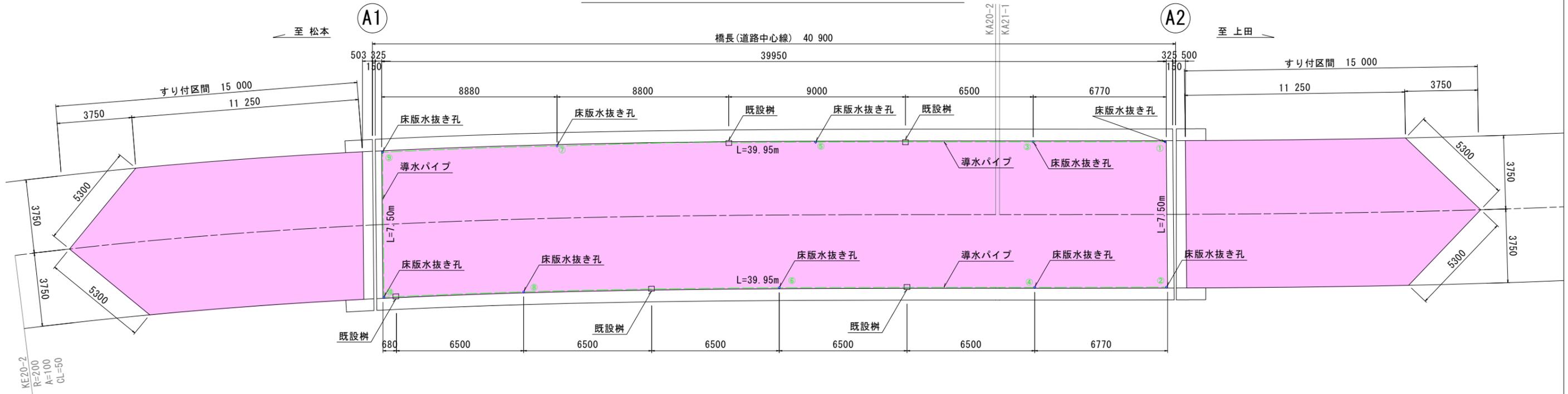
## 補修・補強対策工一覧表

対象構造物	箇所	部位	対策工		目的・効果	補修内容
			補修	補強		
上部工	橋面	舗装・防水工	○	—	舗装改善・防水性の確保	防水層(複合防水)・アスファルト舗装打替え
		伸縮装置	○	—	止水性の確保・段差の解消	伸縮装置交換
		高欄	○	—	構造改善	高欄(アルミ製)取替え
		地覆	○	—	耐力の回復・劣化因子の遮断	地覆全面補修(軽量コンクリート)
	橋体	床版上面	○	—	床版機能の回復・ひび割れ防止	床版上面補修工
		床版下面	○	○	ひび割れ補修・耐力力向上	床版下面増し厚工
		排水装置	○	—	排水機能の確保	排水管補修
下部工	橋台	桁	○	—	防食機能の回復	塗替え塗装工
		支承	○	—	防食機能の回復・うき補修	金属溶射・沓座モルタル補修
		橋台	○	—	橋座面補修・劣化因子の遮断	断面修復工・表面保護工

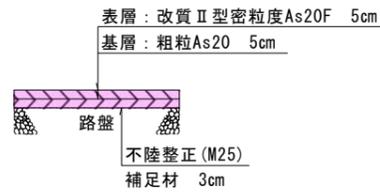
## 実施図

平成28年度 橋梁修繕工事			
番号	2/18	補修・補強工一般図	縮尺 図示
三才山トンネル有料道路(国道254号) 松本市三才山 野間沢橋 他2橋			
所長	課長	照査	設計
長野県道路公社			
設計会社	(株)エス・エス・エス	管理技術者	山崎 賢一
		照査技術者	西澤 正勝
		主任技術者	
		主任技術者	

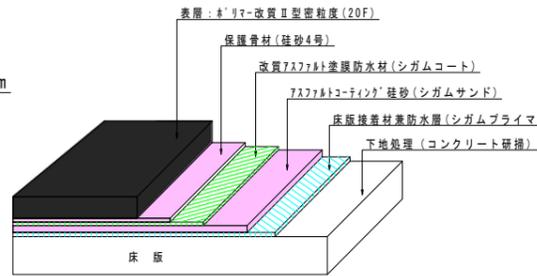
# 野間沢橋 橋面補修工図(1)



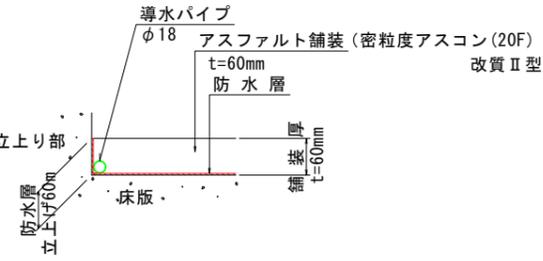
道路部舗装構成 S = 1:20



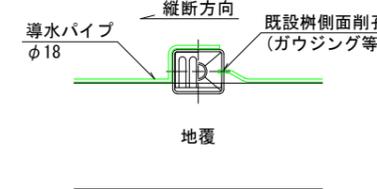
床版防水層構成図



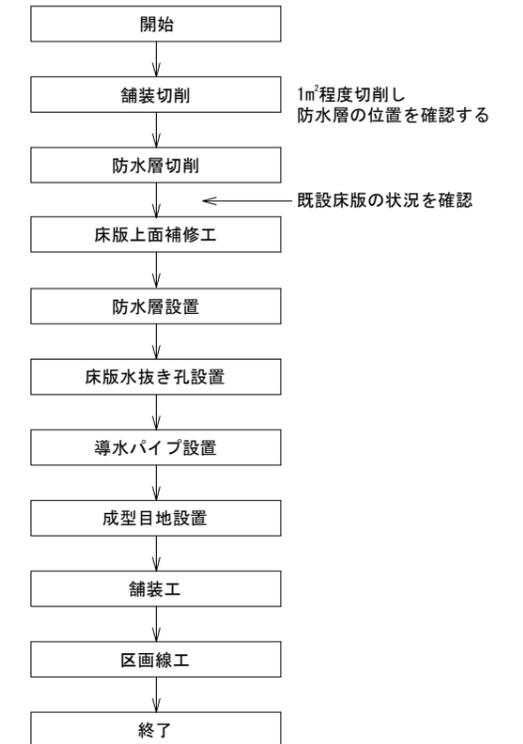
防水層端部処理図 S = 1:5



導水管設置詳細図 S = 1:20



防水工-舗装工施工手順



橋面補修工数量表

工種	種別-細別	規格	単位	算式	数量
舗装版撤去	舗装版切断(すり付け区間)	切断深さ t=10cm	m	$L=7.5 \times 2 + 5.3 \times 2 \times 2 + 15.0 \times 2$	66.2
	路面切削	アスファルト舗装 t=5cm	m <sup>2</sup>	$A=39.95 \times 7.5$	299.6
	混合廃材切削	As+防水層 t=1cm	m <sup>2</sup>	$A=39.95 \times 7.5$	299.6
	舗装取壊(すり付け区間)	アスファルト舗装 t=10cm	m <sup>2</sup>	$A=(15.00 \times 7.5 - 3.75 \times 3.75 \times 1/2 \times 2) \times 2$	196.9
橋面防水工	橋面防水層	複合防水	m <sup>2</sup>	$A=39.95 \times 7.5$ 端部 $(7.5+7.5+39.95+39.95) \times 0.06$	305.3
	導水パイプ	φ18	m	$L=(39.95 \times 2 + 7.5) \times 1.05$ (ロス5%)	91.8
	成型目地材	t=5	m	$L=39.95 \times 3$	199.9
舗装工	橋面舗装	密粒度アスコン(20F) t=6cm 改質II型	m <sup>2</sup>	$A=39.95 \times 7.5$	299.6
	すり付け舗装 表層	密粒度アスコン(20F) t=5cm 改質II型	m <sup>2</sup>	$A=(15.00 \times 7.5 - 3.75 \times 3.75 \times 1/2 \times 2) \times 2$	196.9
	すり付け舗装 基層	粗粒度As20 t=5cm	m <sup>2</sup>	$A=(15.00 \times 7.5 - 3.75 \times 3.75 \times 1/2 \times 2) \times 2$	196.9
	すり付け舗装 不陸整正	M25	m <sup>3</sup>	$V=(15.00 \times 7.5 - 3.75 \times 3.75 \times 1/2 \times 2) \times 2 \times 0.03$	5.9
	区画線工(外側線)	車載式 溶剤型 実線 15cm	m	$L=39.95 \times 2 + 11.25 \times 2 \times 2$	124.9
	区画線工(外側線 破線)	車載式 溶剤型 破線 15cm	m	$L=39.95 \times 2 + 15.0 \times 2 + 11.25 \times 2$	132.4
	区画線工(中央線)	車載式 溶剤型 実線 30cm	m	$L=39.95 + 15.0 \times 2$	70.0

【特記事項】

- 図中の詳細寸法等は、施工時において現地調査を実施して確認すること。
- 床版水抜き孔施工時、床版に削孔を行うが、鉄筋探査を行い、既設鉄筋の位置をさけて施工すること。

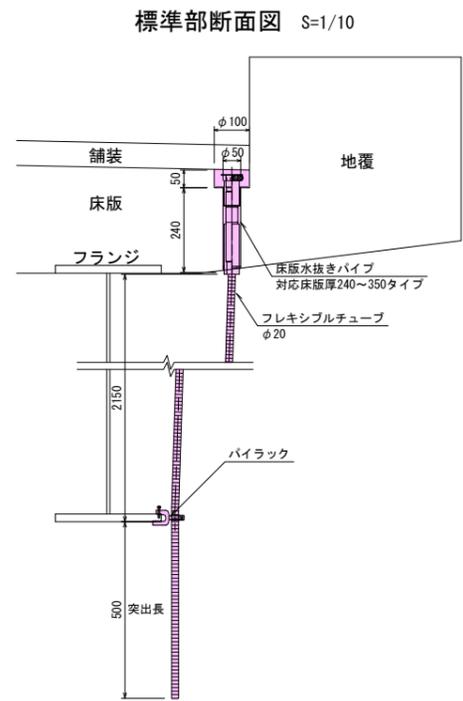
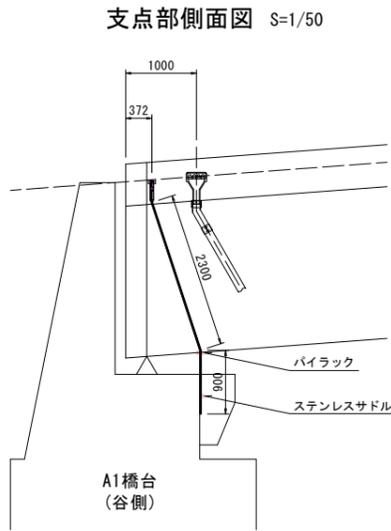
A3版出力の場合、縮尺は50%となる。

実施図

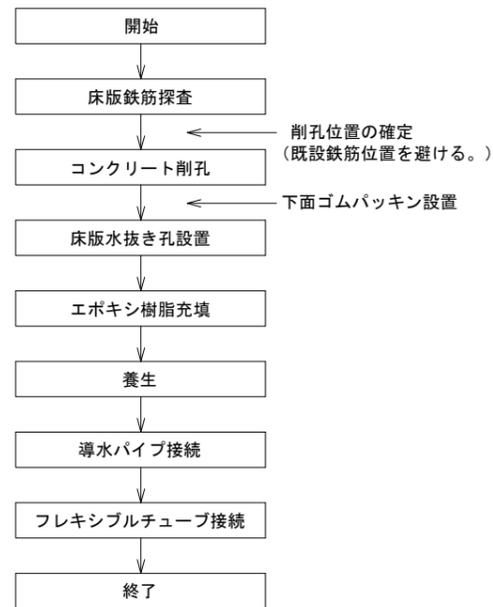
平成28年度 橋梁修繕工事			
番号	3/18	橋面補修図(1)	縮尺 図示
(国)254号 三才山トンネル有料道路			
松本市三才山 野間沢橋 他2橋			
所長	課長	調査	設計
三才山トンネル有料道路管理事務所			
設計会社	(株)ネオプラン	管理技術者	山崎 賢一
		調査技術者	西澤 正徳
		主任技術者	
		主任技術者	

# 野間沢橋 橋面補修工図(2)

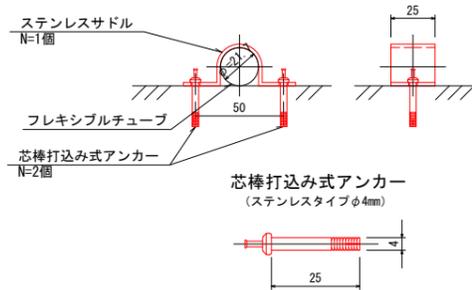
床版水抜き孔詳細図



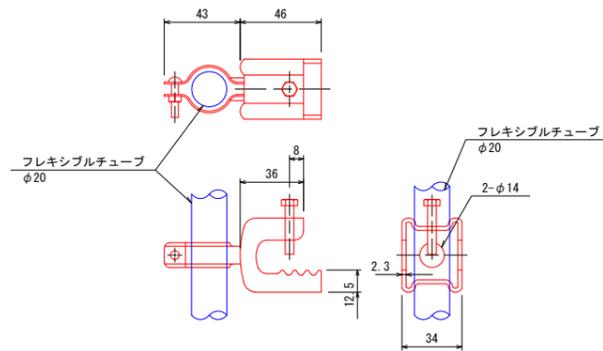
床版水抜き孔施工手順



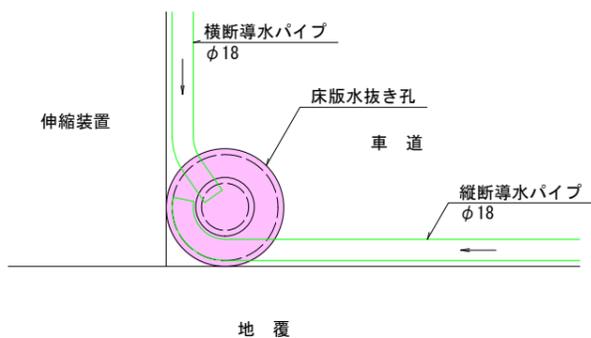
ステンレスサドル詳細図 S=1/2



パイラック詳細図 S=1/2



導水管接続部詳細図 S=1/3



床版水抜き孔設置工数量表

工種	種別-細別	規格	単位	算式	数量
橋面防水工	床版水抜きパイプ	既設橋取付タイプ	個	N=10	10
	フレキシブルチューブ	φ20	m	$L=(2.15+0.5) \times 6+(2.3+0.9) \times 4$	28.7
	パイラック		組	N=10	10
	ステンレスサドル		組	N=4	4
	心棒打込み式アンカー	ステンレスサドル付属	個	N=8	8
	コンクリート削孔	φ100mm L=50mm	孔	N=10	10
	コンクリート削孔	φ50mm L=240mm	孔	N=10	10

【特記事項】

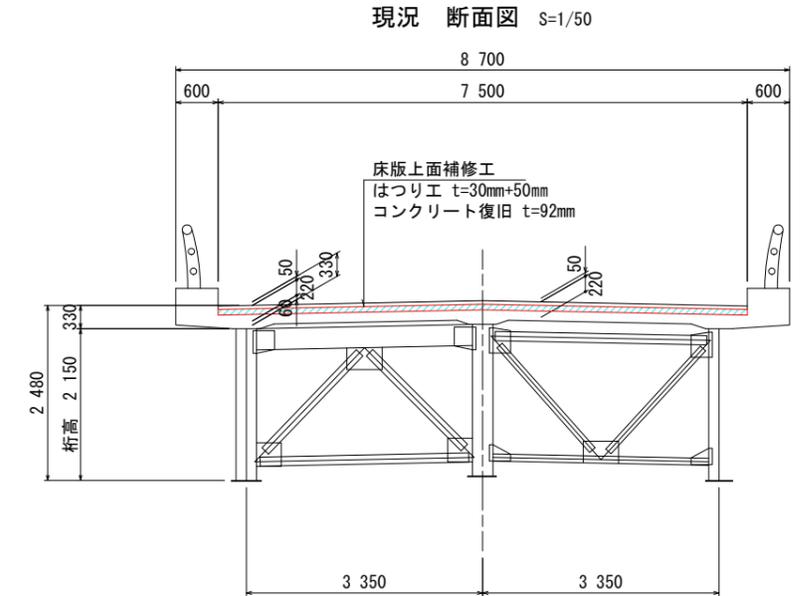
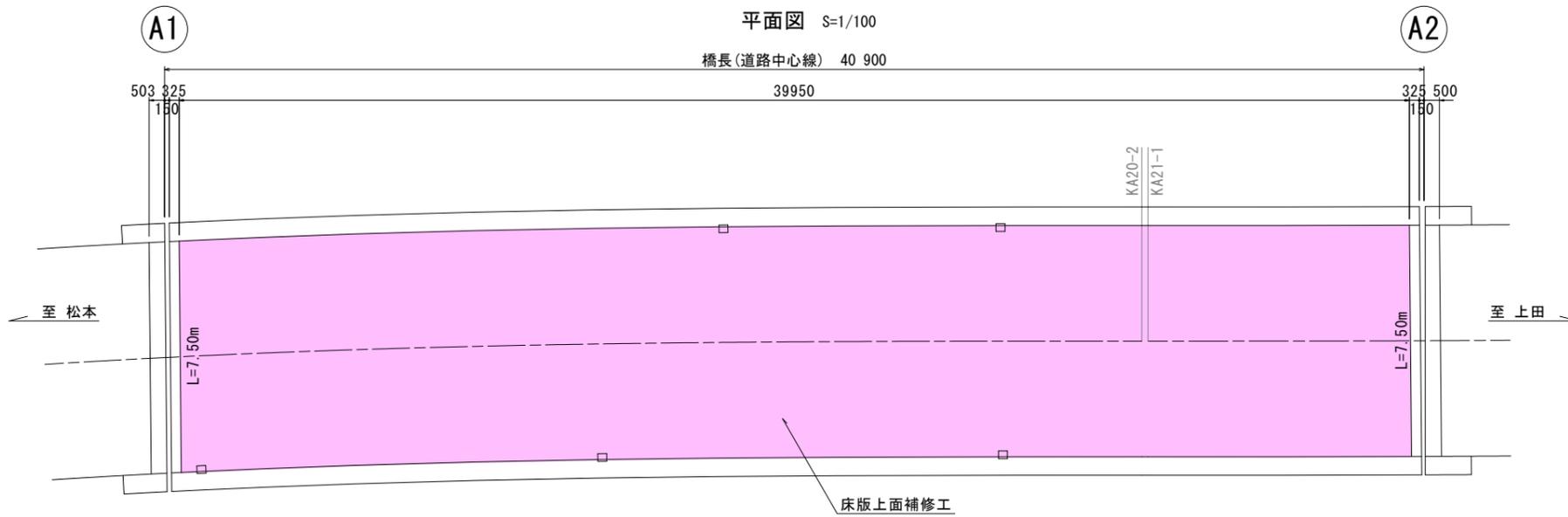
- 図中の詳細寸法等は、施工時において現地調査を実施して確認すること。
- 床版水抜き孔施工時、床版に削孔を行うが、鉄筋探査を行い、既設鉄筋の位置をさけて施工すること。

A3版出力の場合、縮尺は50%となる。

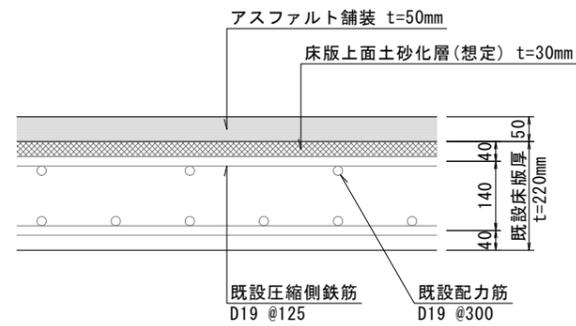
実施図

平成28年度 橋梁修繕工事			
番号	4/18	橋面補修図(2)	縮尺 図示
(国)254号 三才山トンネル有料道路 松本市三才山 野間沢橋 他2橋			
所長	課長	照査	設計
三才山トンネル有料道路管理事務所			
設計会社	(株)エスエスエス	管理技術者	山崎 賢一
		照査技術者	西澤 正勝
		主任技術者	
		主任技術者	

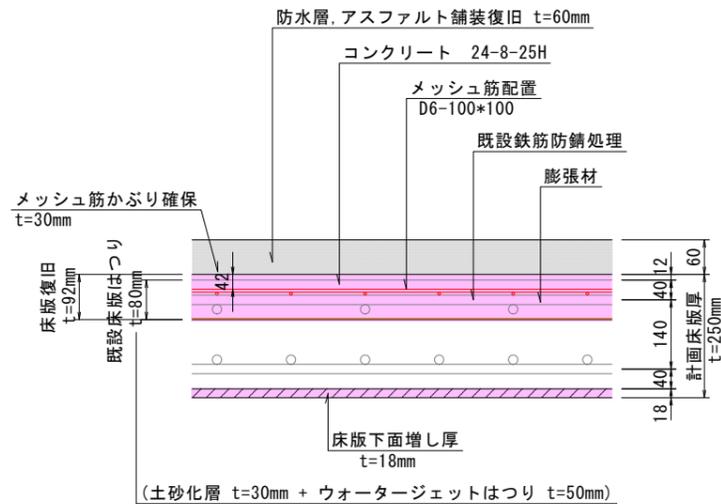
# 野間沢橋 橋面補修工図(3)



床版現況断面

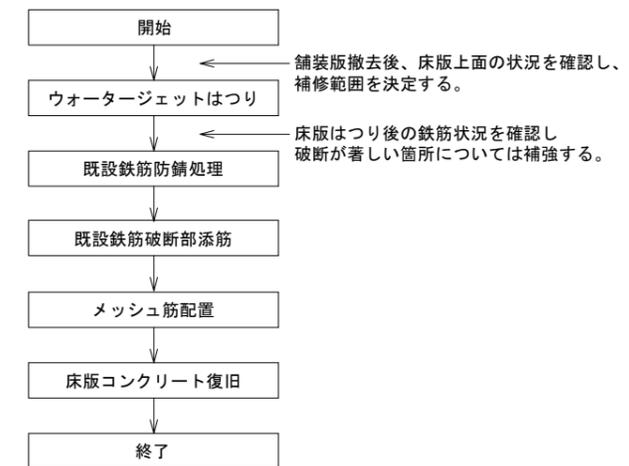


床版補修断面



※鉄筋防錆処理は単位面積当たりで換算。  
橋軸直角方向鉄筋: D19@125  
橋軸方向鉄筋: D19@300  
 $A = \pi \times 0.019 \times (1.00/0.125 + 1.00/0.30) \times 1.00 = 0.676 \text{ m}^2/\text{m}^2$

床版上面補修工施工手順



床版上面補修工数量表

工種	種別-細別	規格	単位	算式	数量
床版上面打替え工	防水層剥ぎ取り工		m <sup>2</sup>	A=7.5 × 39.95	299.6
	コンクリートはつり工	ウォータージェット t=50mm	m <sup>2</sup>	A=7.5 × 39.95	299.6
	廃材処理	コンクリート殻	m <sup>3</sup>	V=7.5 × 39.95 × (0.03+0.05)	24.0
	コンクリート打替え工	24-8-25H	m <sup>3</sup>	V=7.5 × 39.95 × 0.092	27.57
	膨張材	デンカCSA相当	m <sup>2</sup>	A=7.5 × 39.95	299.6
	鉄筋防錆処理	エマコ200相当	m <sup>2</sup>	A=0.676 × 7.5 × 39.95	202.6
	鉄筋金網	SD295A D6-100*100メッシュ	m <sup>2</sup>	A=7.5 × 39.95	299.6

【特記事項】

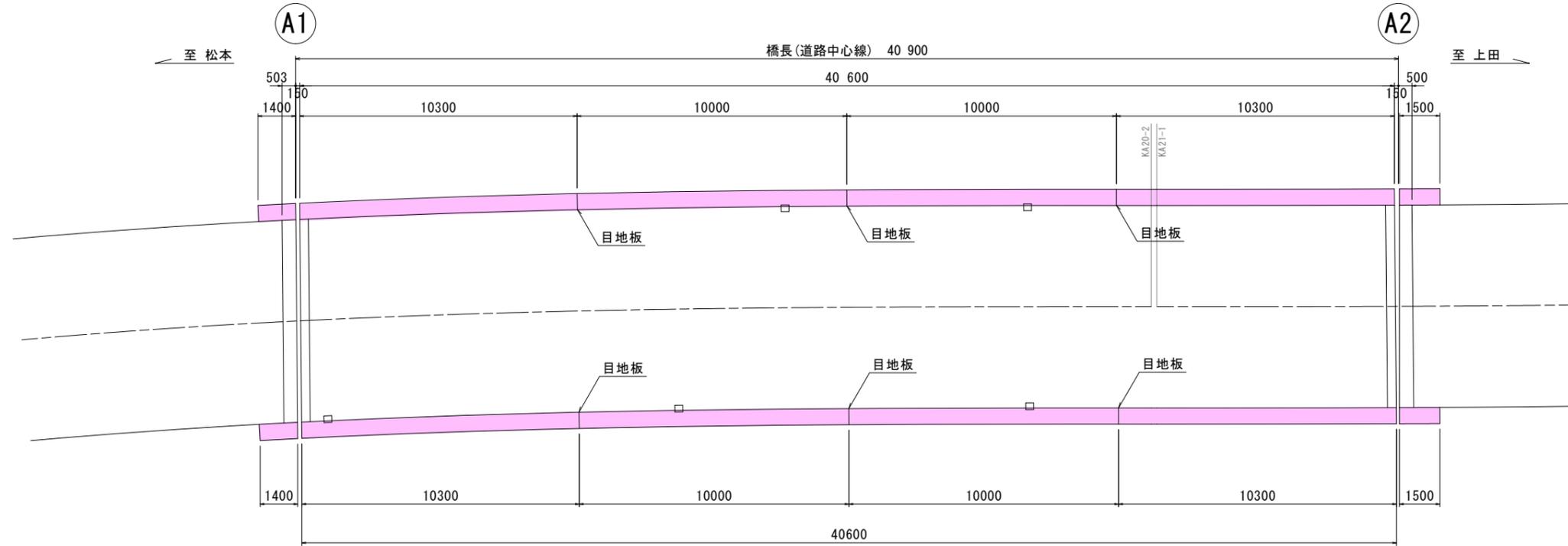
- 補装撤去後に床版の状況を確認し、床版はつり前に監督員と立会いを行うものとする。その上で、施工内容(範囲)に変更が必要となる場合は、監督員と協議するものとする。
- 鉄筋のかぶりは、設計図で30mmを確認しているが、切断工・はつり工において鉄筋に悪影響を与えないように十分留意すること。

A3版出力の場合、縮尺は50%となる。

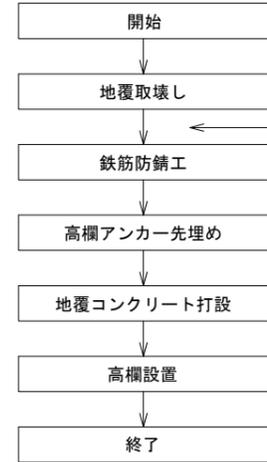
実施図

平成28年度 橋梁修繕工事			
番号 5/18	橋面補修図(3)	縮尺	図示
(国)254号 三才山トンネル有料道路			
松本市三才山 野間沢橋 他2橋			
所長	課長	照査	設計
三才山トンネル有料道路管理事務所			
設計会社	(株)エス・エス・エス	管理技術者	山崎 賢一
		照査技術者	西澤 正勝
		主任技術者	
		主任技術者	

# 野間沢橋 地覆補修工図

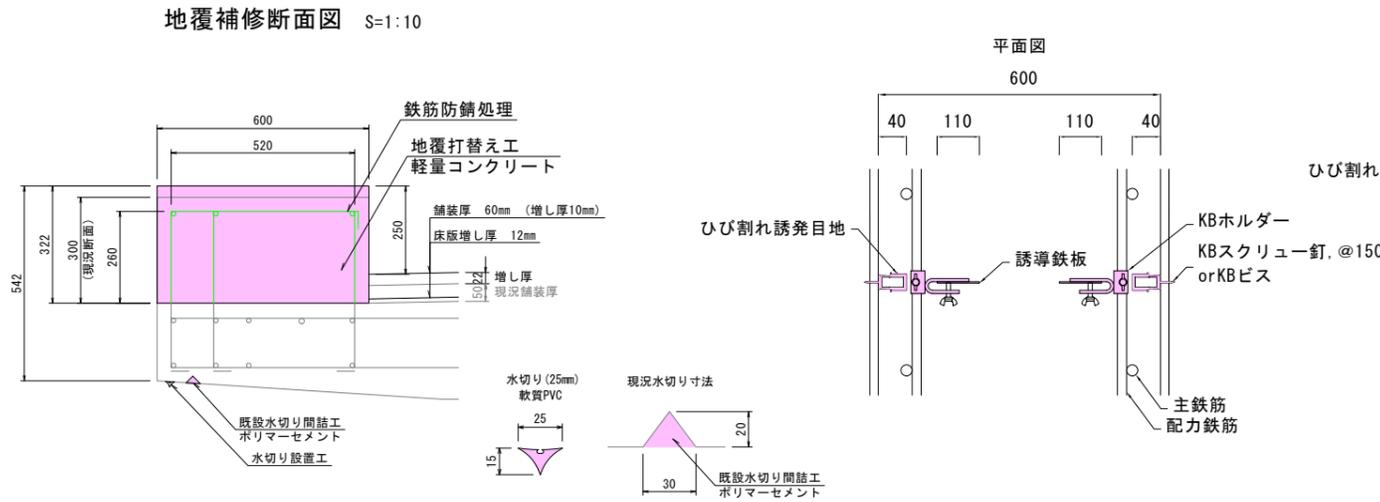


## 地覆補修施工手順

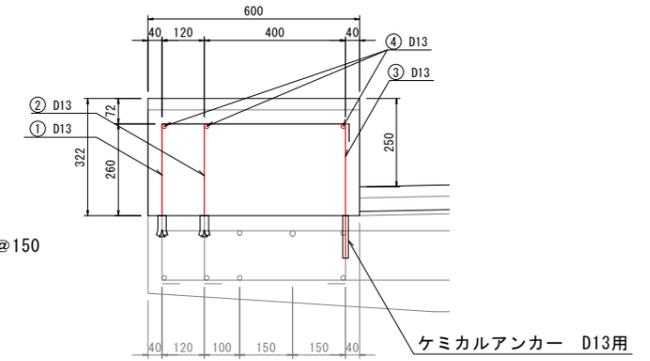


既設鉄筋の状態を確認し、必要があれば鉄筋を新設する。

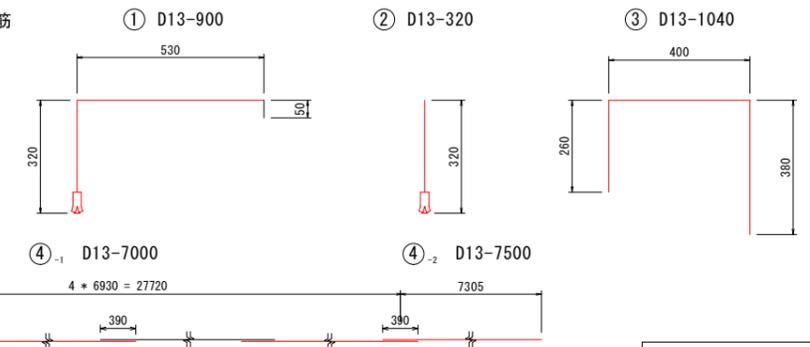
## 目地板詳細図



## 配筋参考図 S=1:10



既設鉄筋は残存を基本とし、地覆コンクリートはつり後、必要があれば鉄筋を新設する。



## 地覆補修工数量表

工種	種別-細別	規格	単位	算式	数量
地覆補修工	コンクリート取り壊し工	無筋コンクリート(配筋は残す)	m <sup>3</sup>	$V=(0.6 \times 0.3) \times (1.4+40.6+1.5) \times 2$	15.7
	鉄筋防錆工		m <sup>2</sup>	$A=40.6 \times 2 \times 0.294 (m^2/m)$	23.9
	コンクリート工(橋台部)	24-8-25	m <sup>3</sup>	$V=(0.6 \times 0.322) \times (1.4+1.5) \times 2$	1.12
	コンクリート工(橋梁部)	軽量コンクリート	m <sup>3</sup>	$V=(0.6 \times 0.322) \times 40.6 \times 2$	15.69
	型枠		m <sup>2</sup>	$A=(0.322+0.322) \times (1.4+40.6+1.5) \times 2$	56.0
目地	ひび割れ誘発目地		箇所	$A=(0.6 \times 0.322) \times 6$ 箇所	1.2
	表面保護工	含浸材塗布	m <sup>2</sup>	$A=(0.542+0.60+0.25) \times (1.4+40.6+1.5) \times 2$	121.97
水切り設置工	既設水切り間詰工	ポリマーセメント	m <sup>3</sup>	$V=1/2 \times (0.03 \times 0.02) \times 40.6 \times 2$	0.02
	水切り設置	軟質PVC	m	$L=40.6 \times 2$	81.2

## 【特記事項】

- 図中の詳細寸法等は、施工時において現地調査を実施して確認すること。
- 地覆鉄筋は、既設鉄筋の破損状況を確認し、必要があれば新設する。
- 鉄筋防錆工面積は単位延長当たりで換算して算出する。  
(地覆1m当たり)  
 $A = \pi \times 0.013 \times (1.00/0.25 \times (0.26 \times 3 + 0.52))$   
 $+ \pi \times 0.013 \times 1.00 \times 2$   
 $= 0.294 m^2/m$

A3版出力の場合、縮尺は50%となる。

## 実施図

平成28年度 橋梁修繕工事			
番号	6/18	地覆補修図	縮尺 図示
(国)254号 三才山トンネル有料道路 松本市三才山 野間沢橋 他2橋			
所長	課長	照査	設計
三才山トンネル有料道路管理事務所			
設計会社	(株)エスエスエス	管理技術者	山崎 賢一
		照査技術者	西澤 正勝
		主任技術者	
		主任技術者	

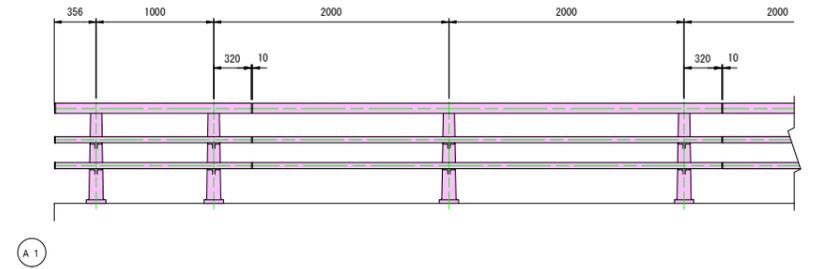
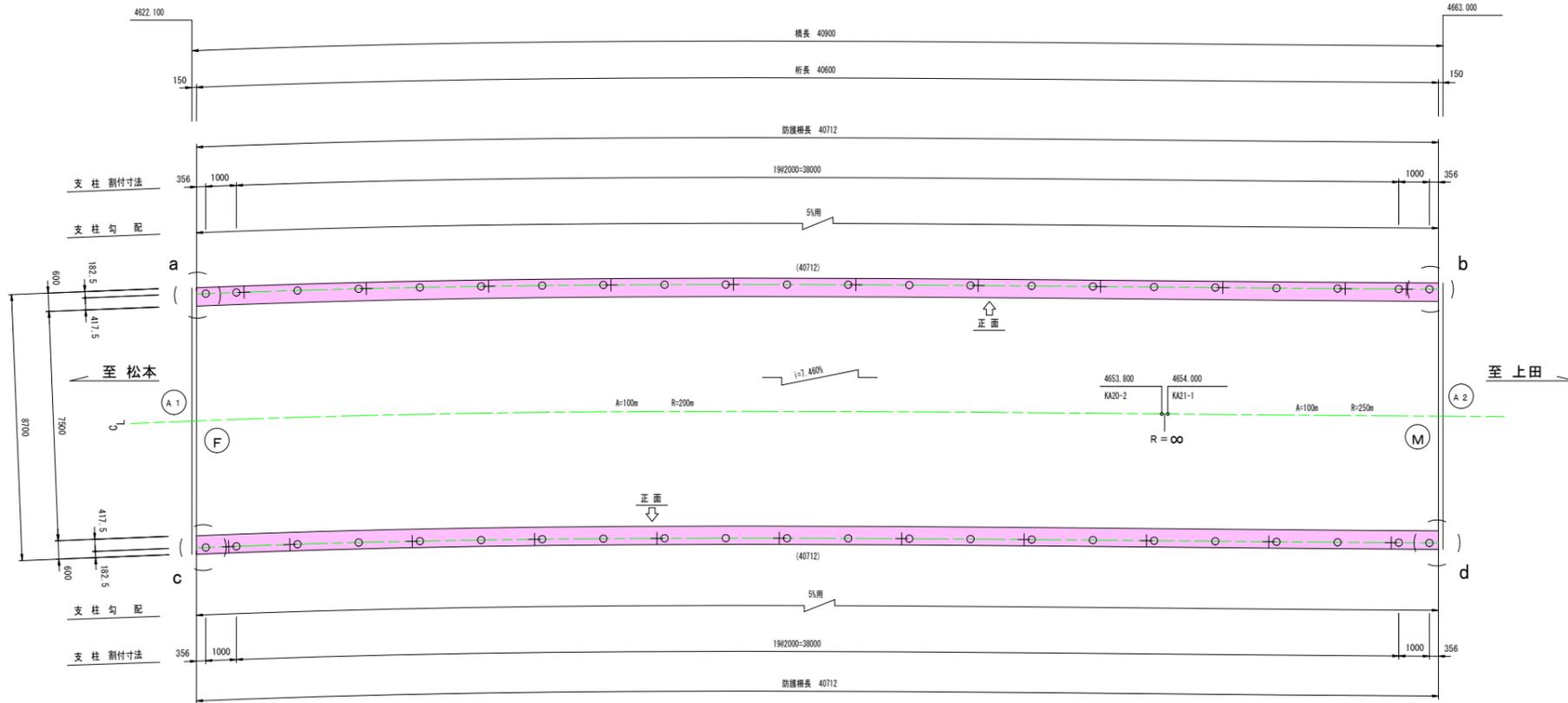
# 野間沢橋 高欄補修工図

<AKS15338C>

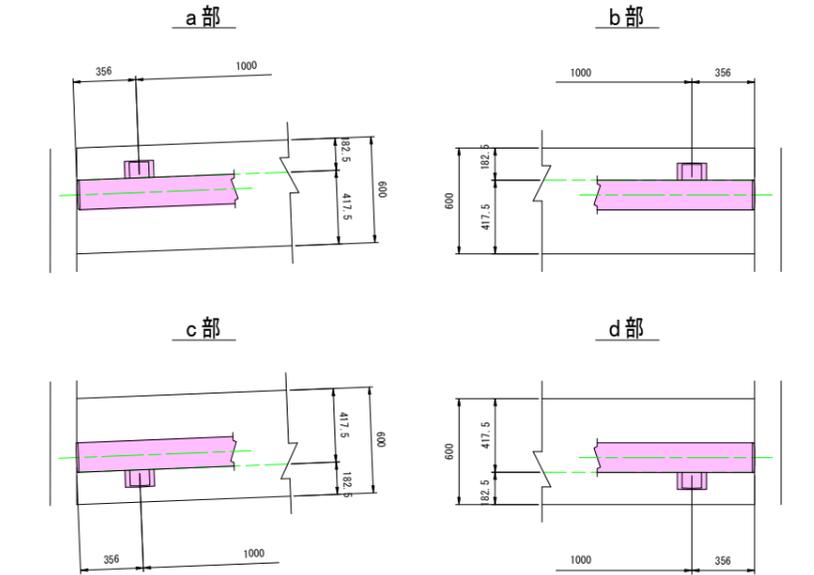
正面展開図 S=1:30

計画図 S=1:100

- 注) ・ 防護欄長は全てアンカー中心実長で示す。  
 ・ 図中○印は支柱位置を示し、+印は横梁継手位置を示す。  
 ・ 防護欄長及び線形要素は、実測後決定とする。

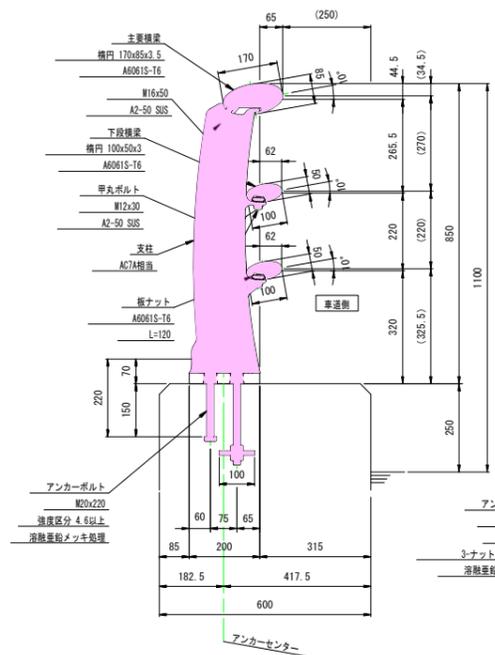


端末詳細図 S=1:20

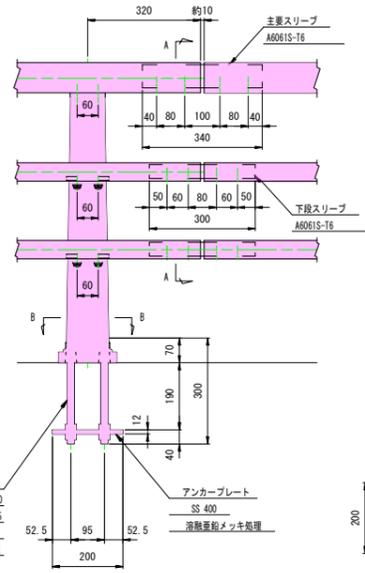


支柱図 S=1:10

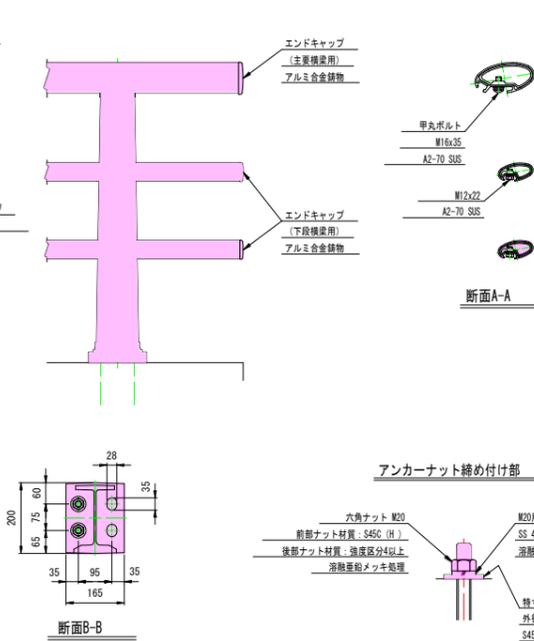
SNB-43ER-85



連結部



端末部



部材数量表

品名	寸法 (mm)	単位	数量	単位質量 (kg/単位)	質量 (kg)	材質
支柱	H-210x120xR 0	本	44	10.16	447.04	AC7A相当
主要横梁	170x85x3.5	本	81.424	4.89	398.16	A6061S-T6
下段横梁	100x50x3	本	162.848	2.18	355.01	A6061S-T6
主要スリーブ	L340	個	22	1.59	34.98	A6061S-T6
下段スリーブ	L300	本	44	0.63	27.72	〃
板ナット	L120	枚	88	0.12	10.56	A6061S-T6
甲丸ボルト	M16x35	セット	88	0.11	9.68	A2-70 SUS
〃	M12x30	〃	176	0.05	8.80	A2-50 SUS
六角ボルト	M16x50	〃	88	0.17	14.96	〃
〃	M12x22	〃	176	0.05	8.80	A2-70 SUS
アンカーボルト	M20x300	セット	88	0.89	78.32	SCM435
〃	M20x220	〃	88	0.68	59.84	強度区分4.6以上
アンカープレート	PL-100x200x12 (81.424 m当り)	枚	44	1.88	82.72	SS400
				合計質量	1536.59 kg	

特記仕様

- 表面仕様  
 主要横梁、下段横梁、主要スリーブ、下段スリーブ他、形材部品はアルマイト処理とし、支柱は差装処理、ボルト(アンカーを除く)はステンカラー及びシルバー色の時を除き着色処理とし、色調は別途打合せとする。
- 本防護欄の設計仕様は、(社)日本アルミニウム協会 土木製品開発委員会作成「アルミニウム合金製橋梁用防護欄設計要領」(平成22年10月)による。
- 本防護欄の支柱は、レベル用を示し、0~2.5%勾配に使用とする。  
 5%用は2.5%~7.5%勾配に使用とする。

コンクリート強度  $\sigma_{ck} \geq 21 \text{N/mm}^2$  以上

A3版出力の場合、縮尺は50%となる。

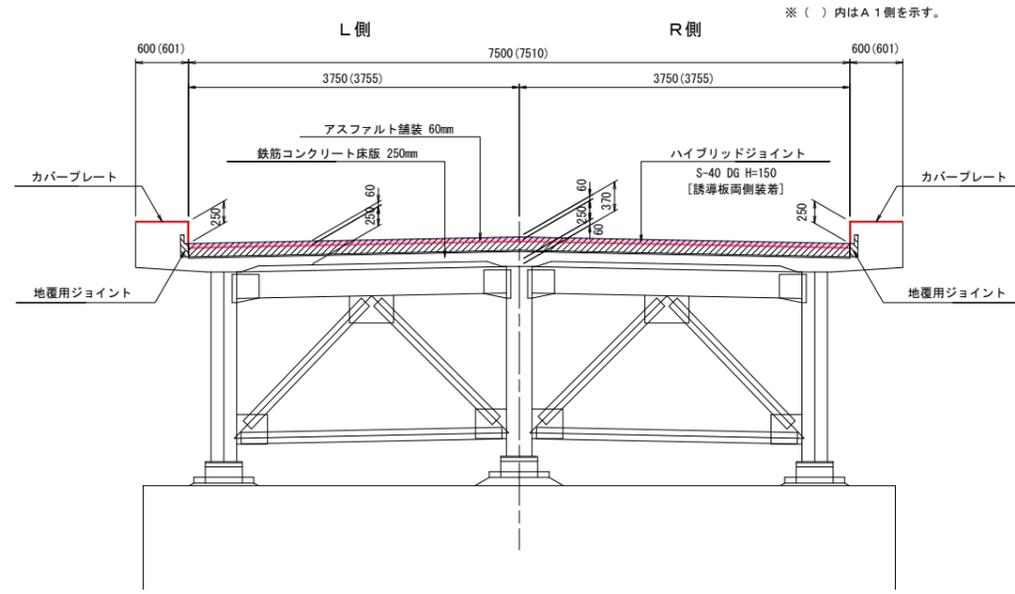
実施図

平成28年度 橋梁修繕工事			
番号	7/18	高欄補修図	縮尺 図示
(国)254号 三才山トンネル有料道路 松本市三才山 野間沢橋 他2橋			
所長	課長	照査	設計
三才山トンネル有料道路管理事務所			
設計会社	(株)ネコンテック	管理技術者	山崎 賢一
		照査技術者	西澤 正勝
		主任技術者	
		主任技術者	

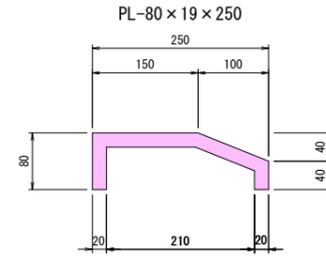
# 野間沢橋 伸縮装置補修図

取付断面図 S=1:5

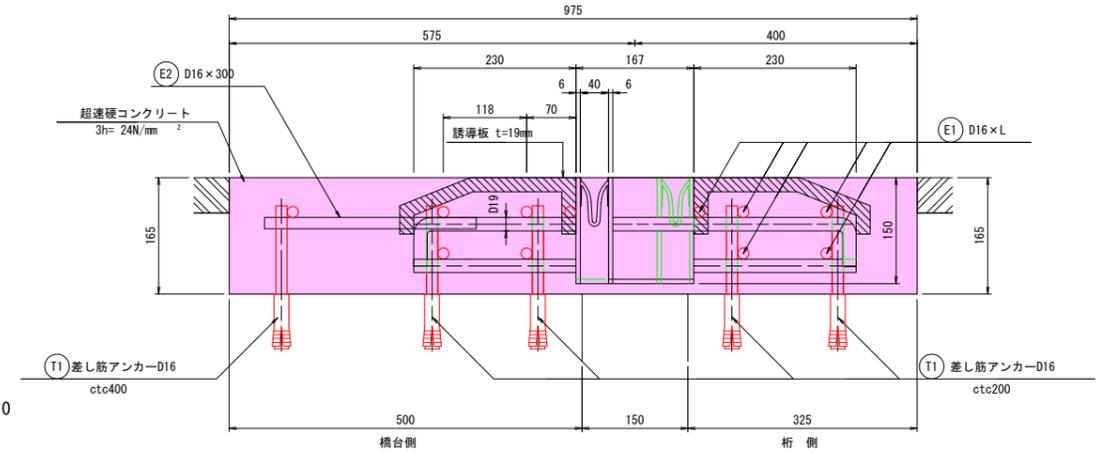
断面図 S=1:40



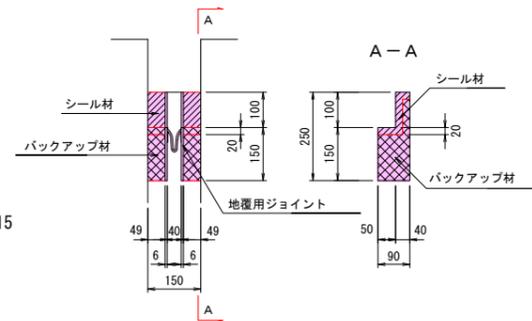
誘導板詳細図



S-40 DG [誘導板両側装着]

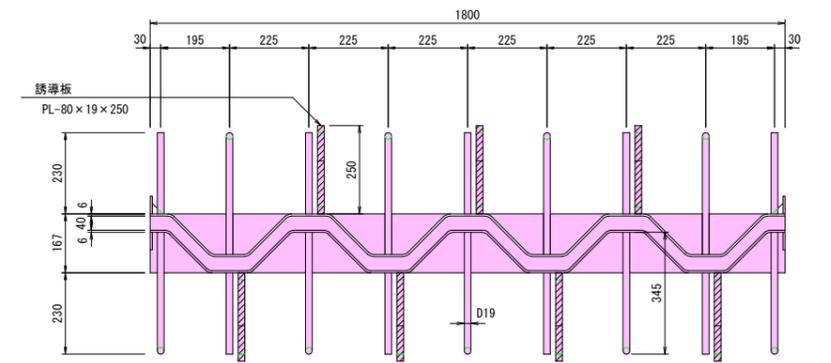


地覆用ジョイント断面図 S=1:10

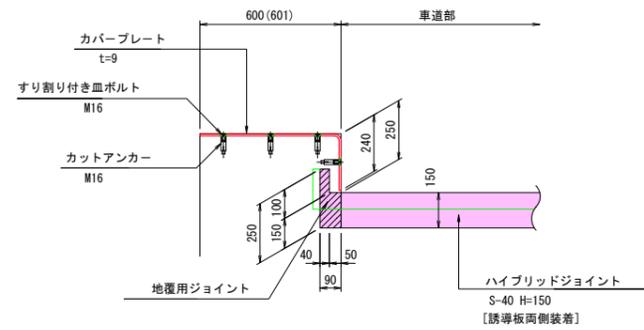


製品平面図 S=1:10

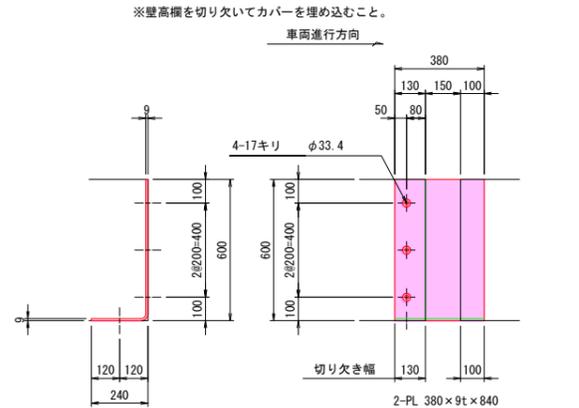
S-40 DG [誘導板両側装着]



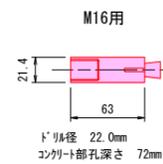
地覆止水処理図 S=1:15



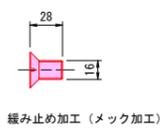
カバープレート詳細図 S=1:15



カットアンカー M16用



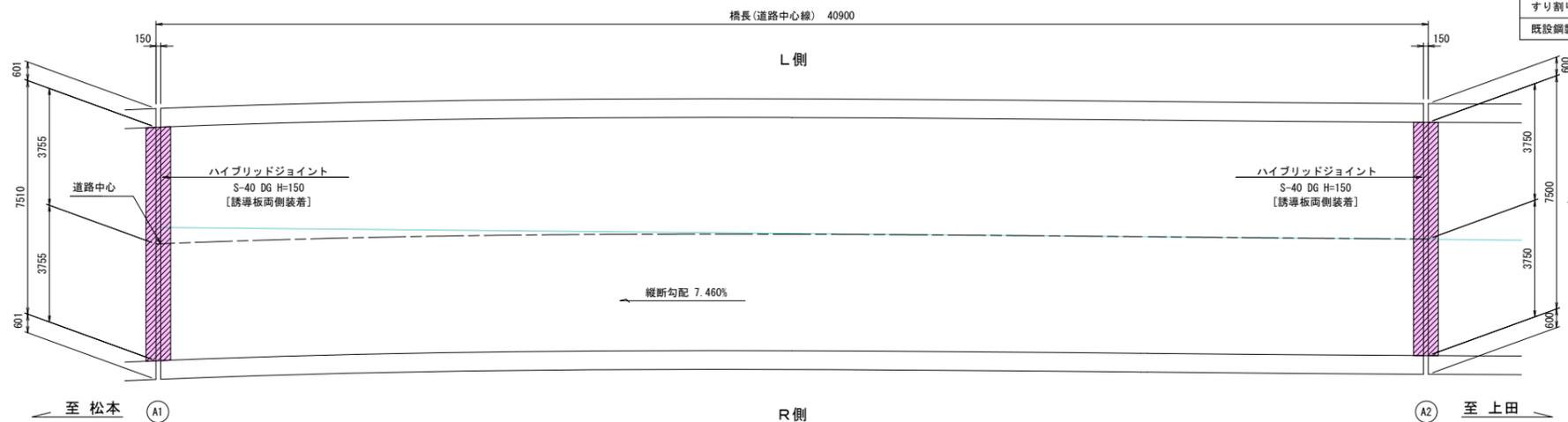
すり割り付き皿ボルト M16



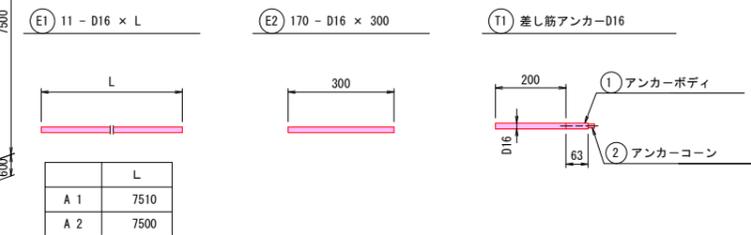
材料表

品名	寸法	単位	A 1	A 2	合計	備考
ハイブリッドジョイント	S-40 DG 167 x 150h x L	m	7.510	7.500	15.010	36.8kg/m
誘導板	PL-80 x 19 x 250	個	31	31	62	
補強鉄筋	E1 11 - D16 x L	kg	128.9	128.7	257.6	
	E2 D16 x 300	本	18	18	36	W = 16.8 kg
差し筋アンカー	T1 D16 x 200	本	170	170	340	W = 106.1 kg W = 380.5kg
超硬コンクリート	3h = 24N/mm <sup>2</sup>	m <sup>3</sup>	1.138	1.136	2.274	
地覆用ジョイント		個	2	2	4	
カバープレート	PL 380 x 9t x 840	枚	2	2	4	溶融亜鉛メッキ HDZ55
カットアンカー	M16 x 63	本	8	8	16	メッキ HDZ35
すり割り付き皿ボルト	M16用	個	8	8	16	メッキ HDZ35
既設鋼製ジョイント撤去	7.5m x 2	m	7.510	7.500	15.010	200kg/m

平面図 S=1:100



鉄筋加工図



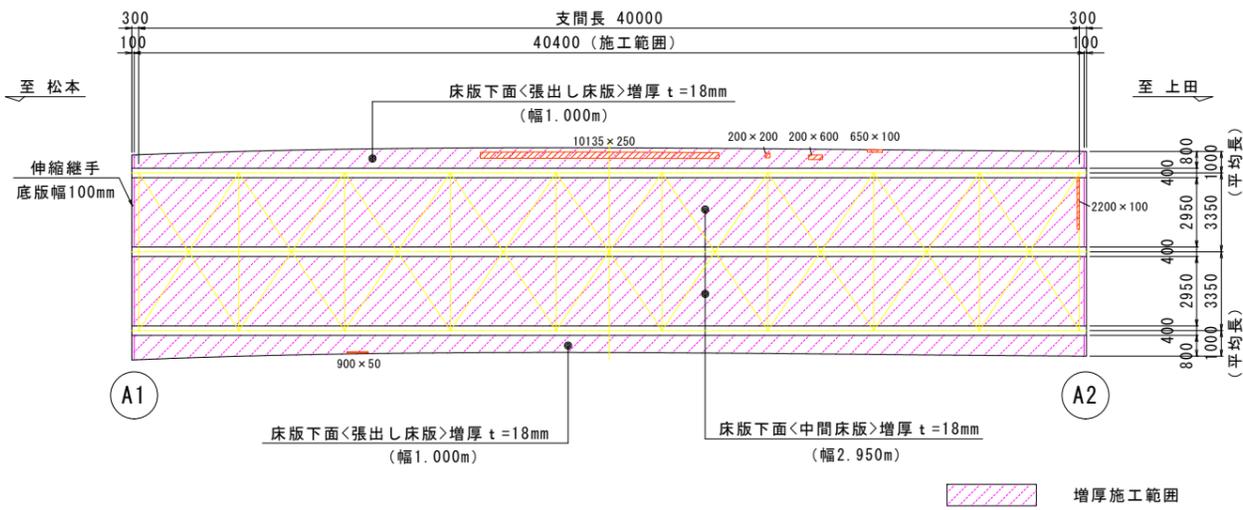
実施図

平成28年度 橋梁補修工事			
番号	8/18	伸縮装置補修図	縮尺 図示
(国)254号 三才山トンネル有料道路			
松本市三才山 野間沢橋 他2橋			
所長	課長	照査	設計
三才山トンネル有料道路管理事務所			
設計会社	(株)ネコナラント	管理技術者	山崎 賢一
		照査技術者	西澤 正勝
		主任技術者	
		主任技術者	

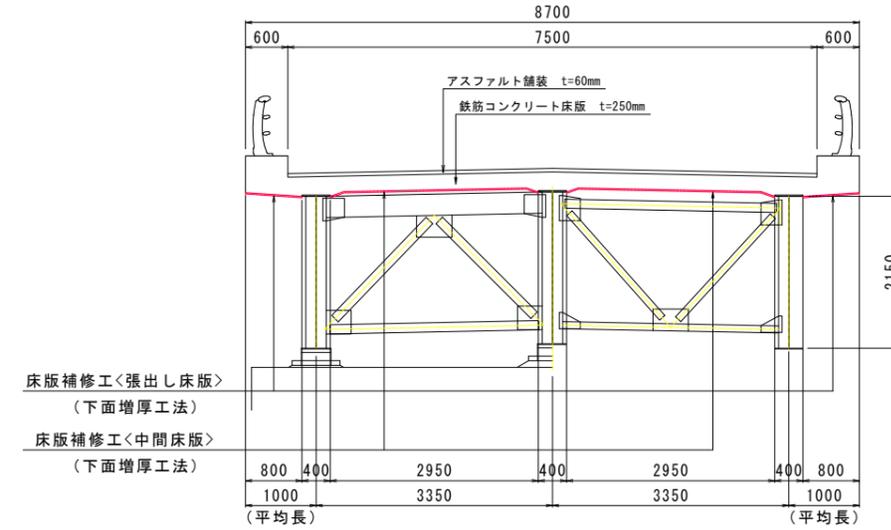
A3版出力の場合、縮尺は50%となる。

# 野間沢橋 床版補修工図(1)

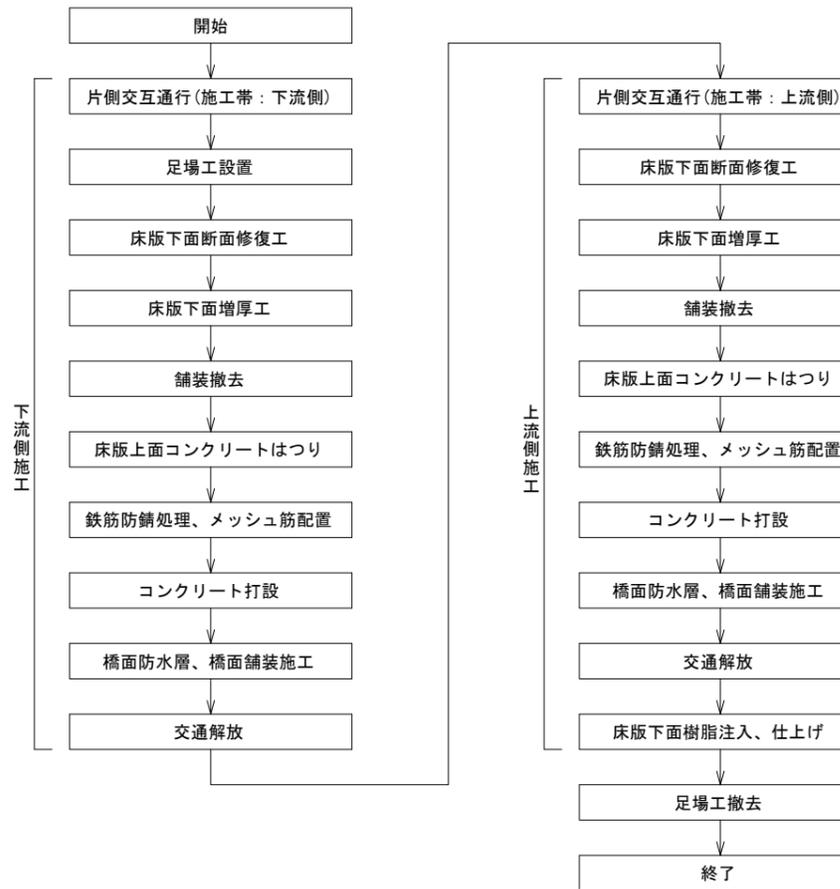
床版下面補修位置図 S=1:150



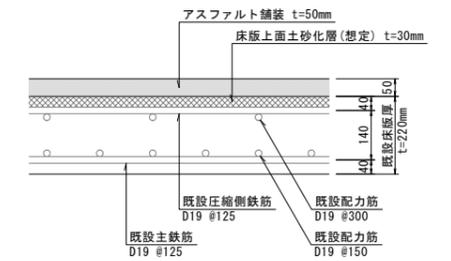
断面図 S=1:50



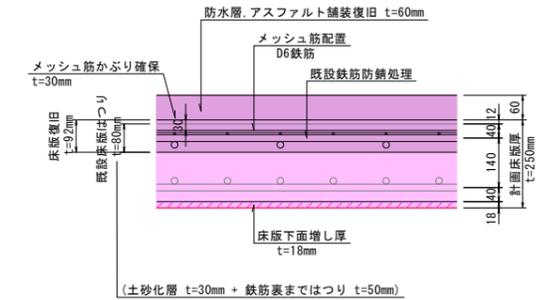
## 床版補修工施工手順



床版現況断面 S=1:10

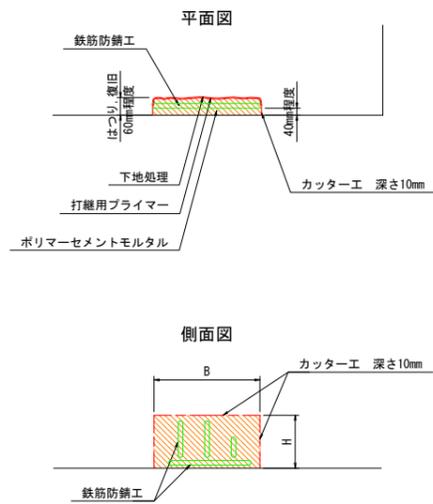


床版補修断面 S=1:10

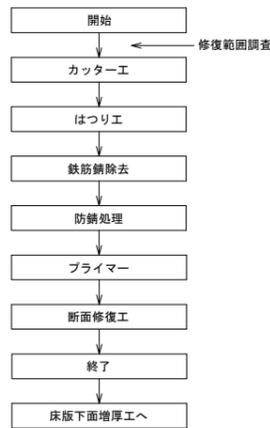


実施図

## 断面修復工詳細図



## 断面修復工の手順



断面修復工寸法表 (A1-A2)

箇所	B(mm)	H(mm)	面積 (m <sup>2</sup> )	カッター延長 (m)
1	900	50	0.05	1.90
2	10135	250	2.53	20.77
3	200	200	0.04	0.80
4	200	600	0.12	1.60
5	650	100	0.07	1.50
6	2200	100	0.22	4.60
合計			3.03	31.17

## 床版下面補修工数量表

工種	種別-細別	規格	単位	算式	数量
床版下面断面修復工 (鉄筋防錆処理)	カッター工	深さ10mm	m	L=31.17	31.17
	はつり工	はつり深さ 60mm程度	m <sup>3</sup>	V=3.03×0.06 (t)	0.182
	鉄筋防錆工	エマコ200相当	m <sup>2</sup>	A=3.03×0.565 (m <sup>2</sup> /m <sup>2</sup> )	1.7
	断面修復工	ポリマーセメント	箇所	V=3.03×0.06 (t)	0.182
床版下面増厚工		ホゼン材吹付	m <sup>2</sup>	A=303.0	303.0

## 【特記事項】

- 図中の詳細寸法等は、施工時において現地調査を実施して確認すること。
- 鉄筋防錆工面積は単位面積当たりで換算して算出する。配筋は、縦D13@125、横D19@250と仮定して、以下のとおり算出した。  
(コンクリート1m<sup>2</sup>当たり)  
A=π×0.013\*(1.00/0.125\*1.00)  
+π×0.019\*(1.00/0.250\*1.00)=0.565m<sup>2</sup>

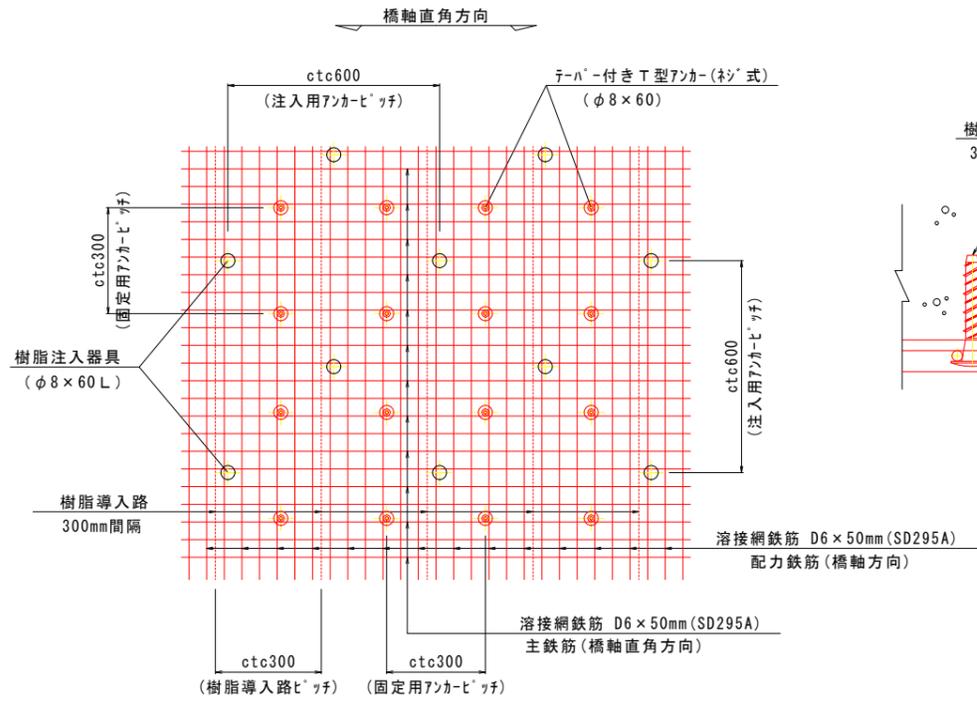
A3版出力の場合、縮尺は50%となる。

平成28年度 橋梁修繕工事			
番号	9/18	床版補修工図(1)	縮尺 図示
(国)254号 三才山トンネル有料道路 松本市三才山 野間沢橋 他2橋			
所長	課長	調査	設計
三才山トンネル有料道路管理事務所			
設計会社	(株)エコーシステム	管理技術者	山崎 賢一
		調査技術者	西澤 正樹
		主任技術者	
		主任技術者	

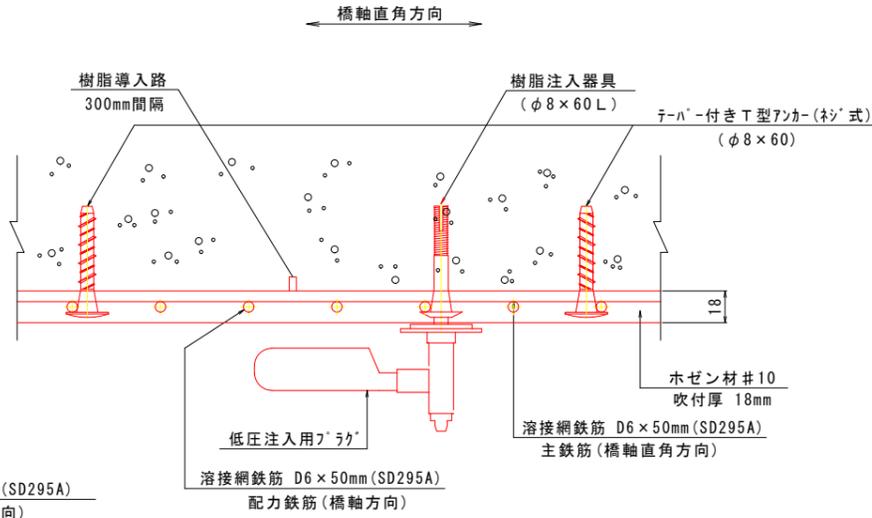
# 野間沢橋 床版補修工図(2)

(下面増厚工法)

補強鉄筋配置図 S=1:10



補強断面詳細図 S=1:2



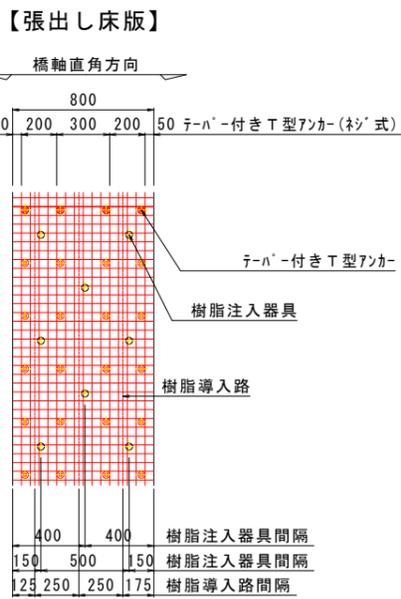
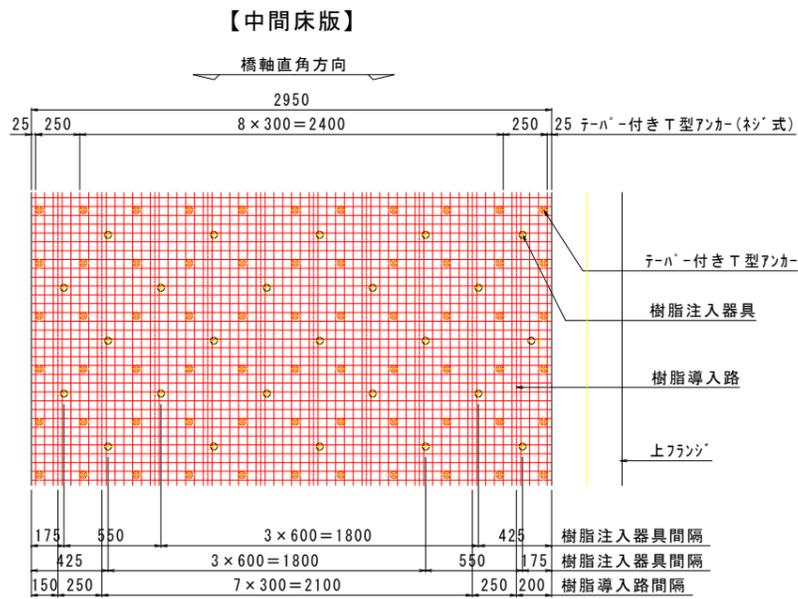
数量表

項目	規格	単位	数量	摘要
樹脂導入路設置工	カッター工(深さ7~8mm)	m	1050.4	300mm間隔
下地処理工	サンダーケレン	m <sup>2</sup>	303.0	
溶接網鉄筋取付工	D6×50mm, D6×50mm	m <sup>2</sup>	303.0	SD295A
アンカー打設工	テーパ付きT型(ネジ式)(φ8×60)	本	4080	
樹脂注入器具打設工	テーパ付きT型(φ8×60L)	本	1768	
防錆材塗布工	FM7ライマー	m <sup>2</sup>	303.0	0.3kg/m <sup>2</sup>
ネット材#10 吹付工	t=18mm	m <sup>2</sup>	303.0	32.4kg/m <sup>2</sup>
樹脂注入工	超低粘度エポキシ樹脂	m <sup>2</sup>	303.0	
表面仕上げ工	ネット材#1	m <sup>2</sup>	303.0	0.75kg/m <sup>2</sup>

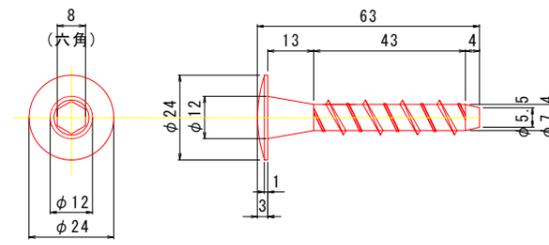
下面増厚工法施工順序

1. 樹脂導入路設置工(カッター工)
2. 下地処理工(サンダーケレン)
3. 溶接網鉄筋取付工・アンカー打設工・樹脂注入器具打設工
4. 防錆材塗布工(0.3kg/m<sup>2</sup>)
5. ネット材#10 吹付工(32.4kg/m<sup>2</sup>)
6. 樹脂注入工(超低粘度エポキシ樹脂)
7. 表面仕上げ工(0.75kg/m<sup>2</sup>)

アンカー配列図(例) S=1:20

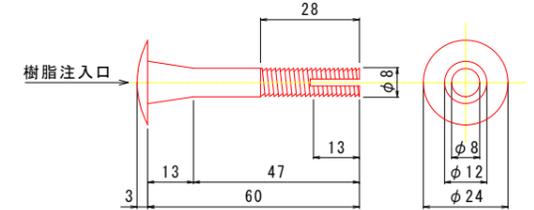


テーパ付きT型アンカー(ネジ式) S=1:1 (φ8×60)

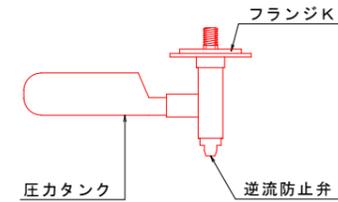


※アンカーは必ず溶接網鉄筋の交点に打設しアンカー本体と鉄筋に、接点があるものとする。

樹脂注入器具 S=1:1 (φ8×60L)



低粘度エポキシ樹脂 S=1:2 低圧注入用ブランク



注記)

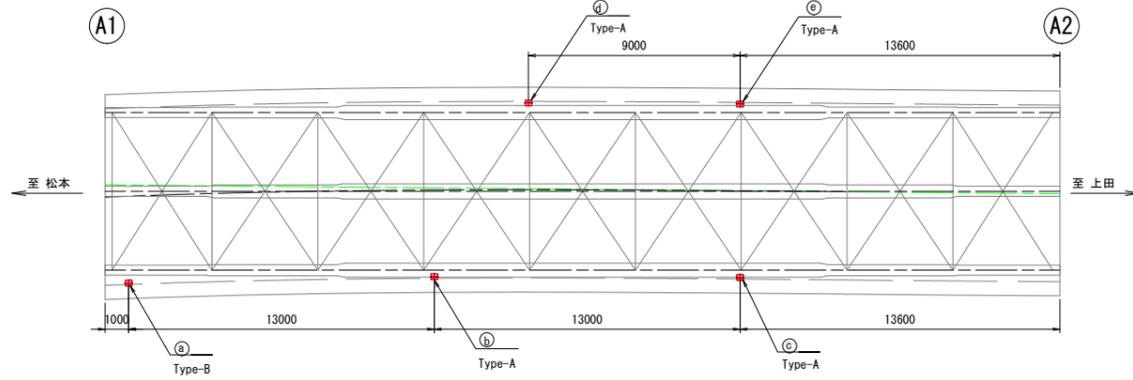
1. 溶接網鉄筋の重ね継手長は30d以上とする。
2. テーパ付きT型アンカー(ネジ式)(FMS-8)の本数は、溶接網鉄筋の重ね継手により変更あるものとする。
3. テーパ付きT型アンカー(ネジ式)(FMS-8)の打設は、内側(センター)付近から外方向へ溶接網鉄筋に緊張を与えながら順次打設する。

実施図

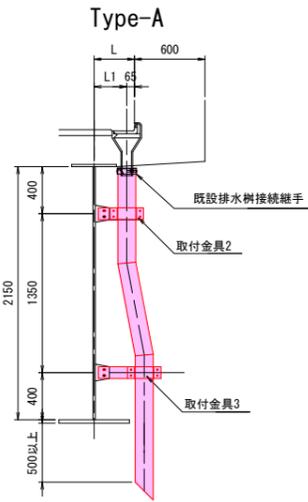
平成28年度 橋梁修繕工事			
番号	10/18	床版補修工図(2) 縮尺 図示	
(国)254号 三才山トンネル有料道路			
松本市三才山 野間沢橋 他2橋			
所長	課長	照査	設計
三才山トンネル有料道路管理事務所			
設計会社	(株)エスエスエス	管理技術者	山崎 賢一
		照査技術者	西澤 正徳
		主任技術者	
		主任技術者	

A3版出力の場合、縮尺は50%となる。

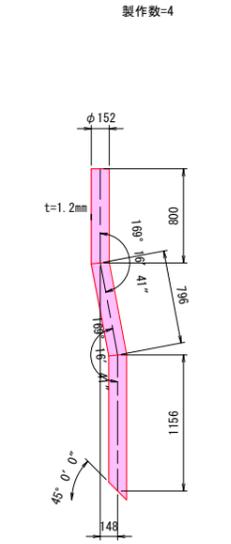
配置図 S=1/50



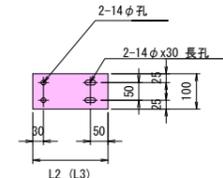
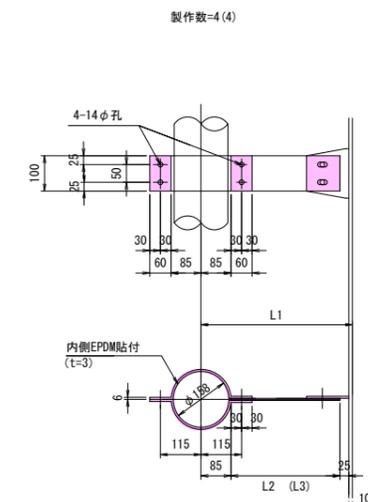
排水管取付図 b~e



排水管詳細図 b~e



取付金具2(3)

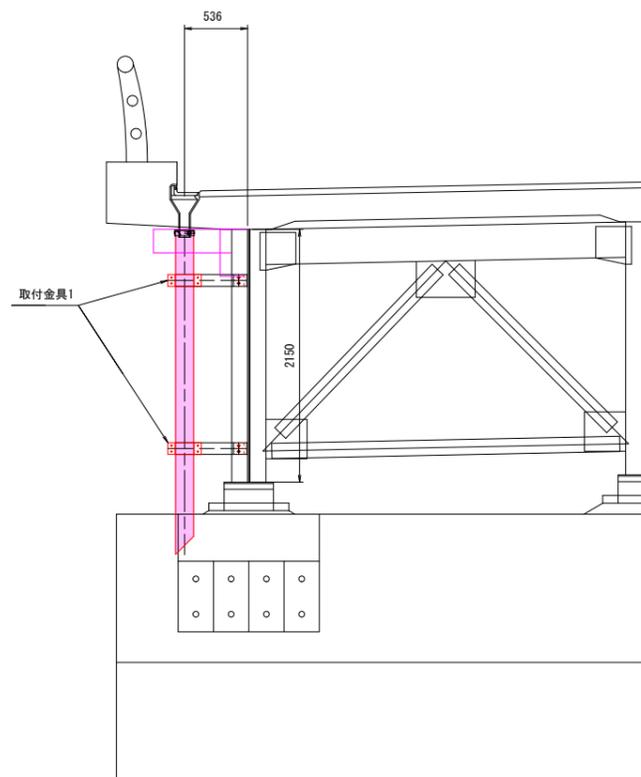


寸法表

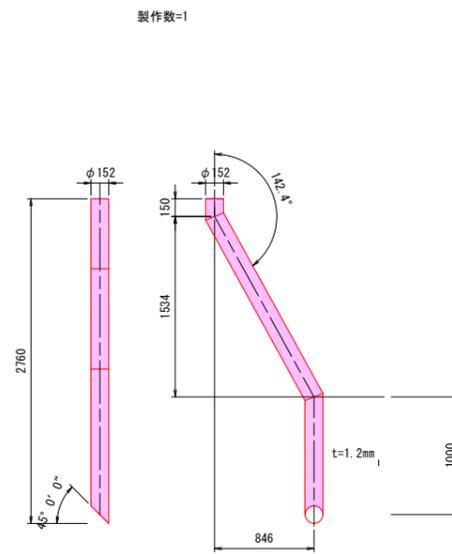
	L	L1	L2	L3
(b)	343	278	158	306
(c)	374	309	189	337
(d)	470	405	285	433
(e)	426	361	241	389

- 2-PL 100x6x368 (SS400)
- 1-PL 100x6xL2 (SS400) 取付金具2
- 1-PL 100x6xL3 (SS400) 取付金具3
- 6-BN M12x45 (SS400)
- 2-EPDM 100x3x230

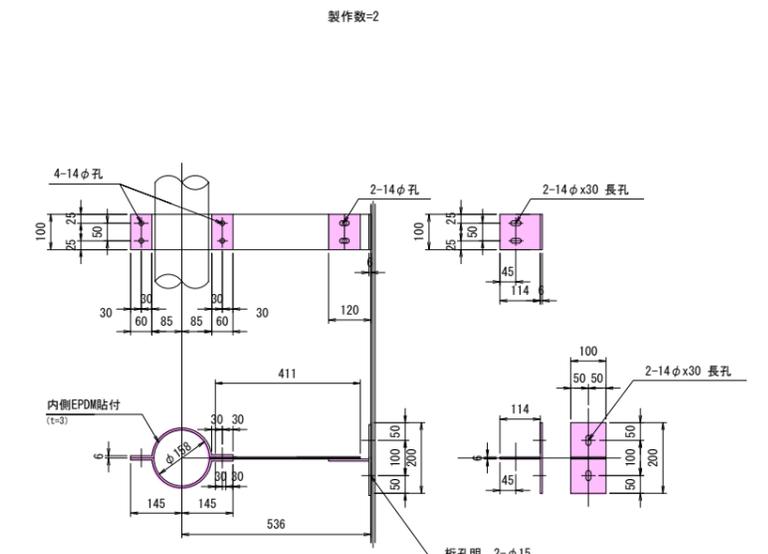
排水管取付図 a  
Type-B



排水管詳細図 a

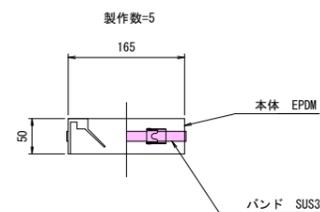


取付金具1



- 2-PL 100x6x368 (SS400)
- 1-PL 100x6x200 (SS400)
- 1-PL 100x6x120 (SS400)
- 1-PL 100x6x411 (SS400)
- 6-BN M12x45 (SS400)
- 2-BN M12x50 (SS400)
- 2-EPDM 100x3x230

既設排水樹接続継手



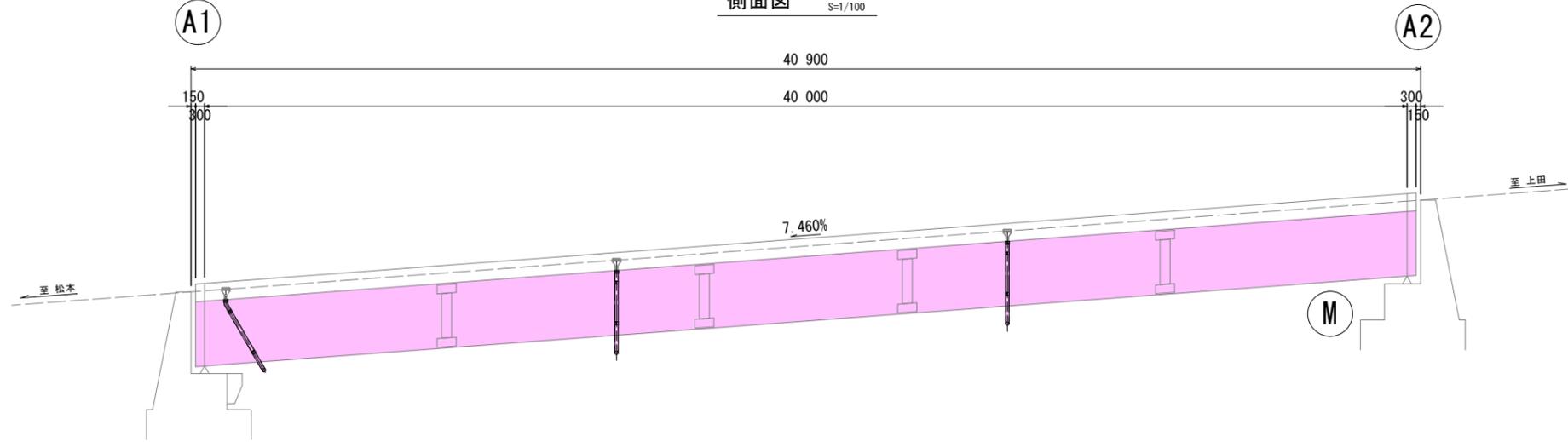
注) 1. 特記なき材質はすべてSUS304とする。  
2. 排水管は、NETIS No. CB-980013-VIに準ずる。  
3. SS400は全て溶融亜鉛メッキ (JIS H 8641 2種 HDZ55) 仕上げを行う。但し、ボルト類はHDZ35とする。

実施図

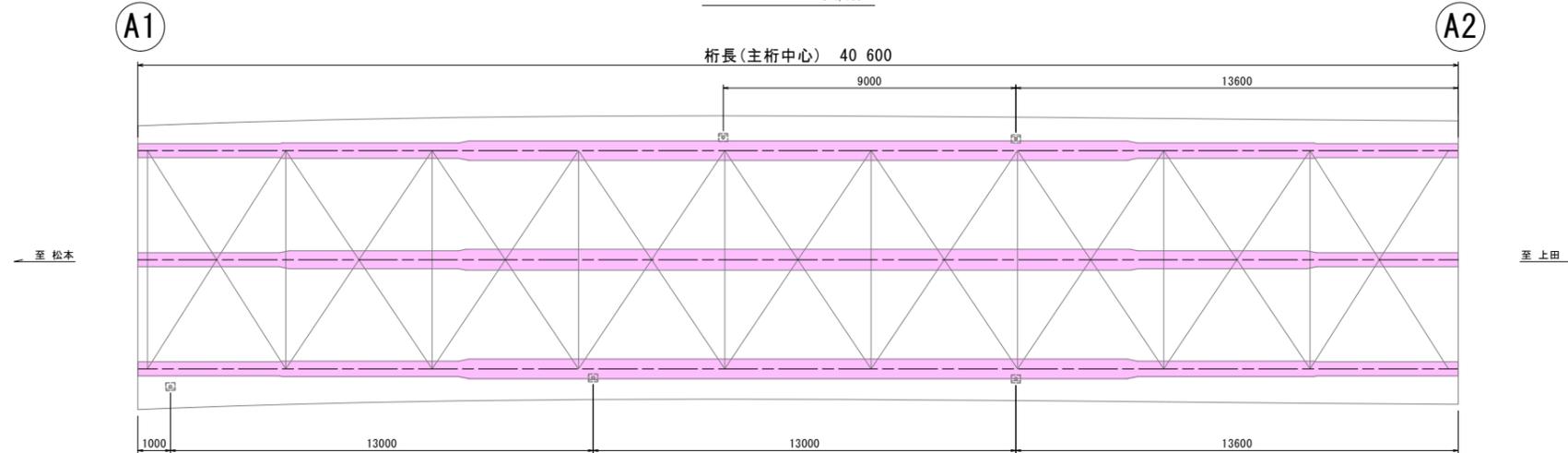
平成28年度 橋梁修繕工事			
番号	11/18	排水管補修図	縮尺 図示
(国)254号 三才山トンネル有料道路			
松本市三才山 野間沢橋 他2橋			
所長	課長	照査	設計
三才山トンネル有料道路管理事務所			
設計会社	(株)ネコナラント	管理技術者	山崎 賢一
		照査技術者	西澤 正勝
		主任技術者	
		主任技術者	

# 野間沢橋 塗替塗装工図

側面図 S=1/100



平面図 S=1/100



## 塗装仕様

塗装工程	塗料名	塗装間隔
素地調整	3種 (ワイヤーブラシ、スクレイパー、ケレン棒など)	4時間以内
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料 (鋼板露出部のみ)	
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	1日~10日
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料	1日~10日
中塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	1日~10日
上塗り	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料	1日~10日

※鋼道路橋塗装-防食便覧 (H17.12) 日本道路協会 (11-95)

## 塗装面積総括表 (m<sup>2</sup>)

項目	部位	面積
外面塗装 現場塗装	主桁	862.75
	対傾構	97.20
	分配横桁	70.10
	横構	96.19
	合計	1126.24

※塗装面積数量は、昭和48年設計図書を基に算出した。

## 各塗料の標準使用量と標準膜厚

塗装方法	標準使用量 (g/m <sup>2</sup> )		標準膜厚 (μm)
	はけ・ローラー	エアレススプレー	
弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗り	200	240	60
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料中塗り	140	170	30
弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗り	120	140	25

※鋼道路橋塗装-防食便覧 (H17.12) 日本道路協会 (11-74)

## 塗替塗装工数量表

工種	種別-細別	規格	単位	算式	数量
塗装工 (塗替塗装)	素地調整	3種ケレンA	m <sup>2</sup>	A = 1126.24	1126.24
	下塗り	弱溶剤型変性エポキシ樹脂塗料	m <sup>2</sup>	A = 1126.24	1126.24
	中塗り	弱溶剤型ふっ素樹脂塗料	m <sup>2</sup>	A = 1126.24	1126.24
	上塗り	弱溶剤型ふっ素樹脂塗料	m <sup>2</sup>	A = 1126.24	1126.24

### 【特記事項】

1. 図中の詳細寸法等は、施工時において現地調査を実施して確認すること。

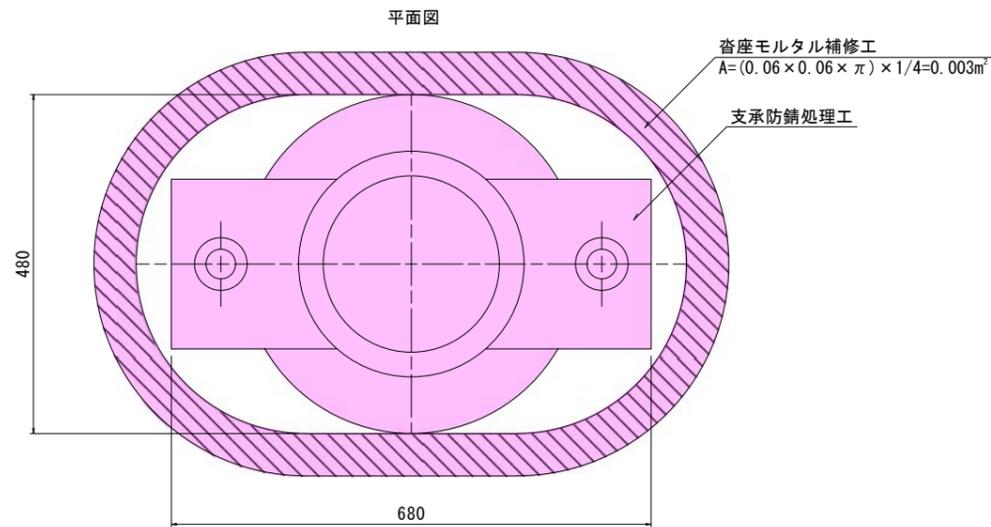
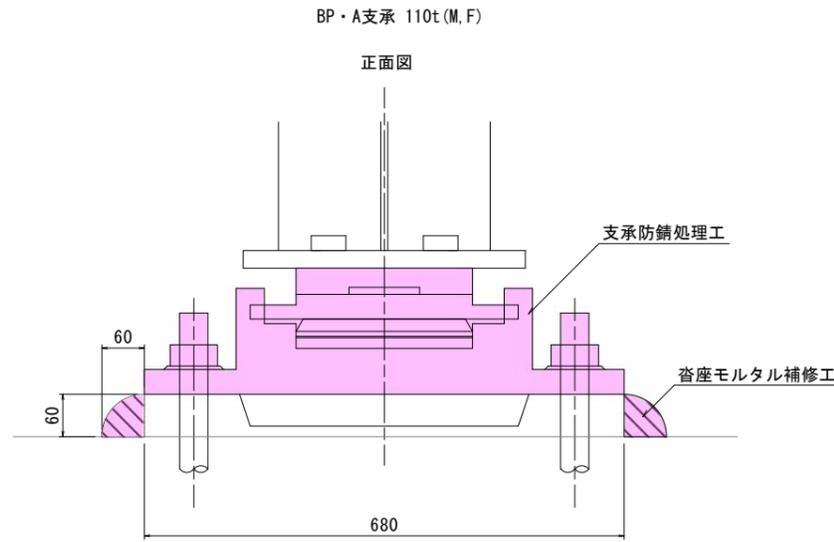
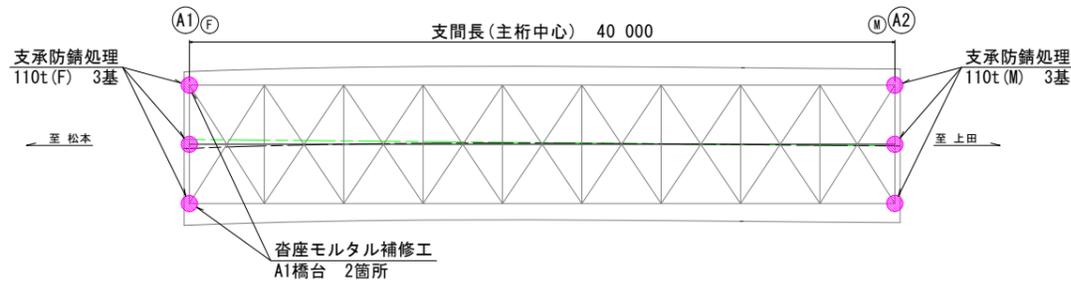
A3版出力の場合、縮尺は50%となる。

## 実施図

平成28年度 橋梁修繕工事			
番号	12/18	塗替塗装工図	縮尺 図示
(国)254号 三才山トンネル有料道路 松本市三才山 野間沢橋 他2橋			
所長	課長	照査	設計
三才山トンネル有料道路管理事務所			
設計会社	(株)エコーシステム	管理技術者	山崎 賢一
		照査技術者	西澤 正勝
		主任技術者	
		主任技術者	

# 野間沢橋 支承補修工図

支承補修工 位置図 S=1/200

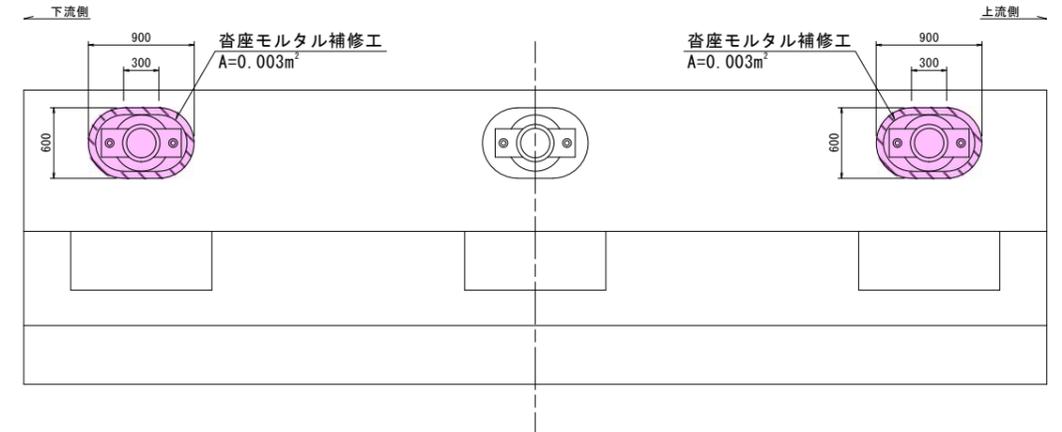


支承防錆工数量集計表

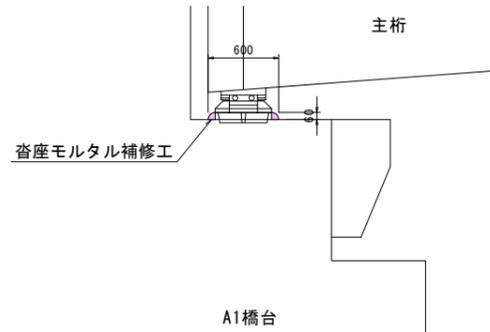
位置	支承タイプ			基
	種類	反力	支承条件	
A1	支承板支承 (BP・A)	110 t	F	3
A2	支承板支承 (BP・A)	110 t	M	3
合計				6

沓座モルタル補修工 S=1/30

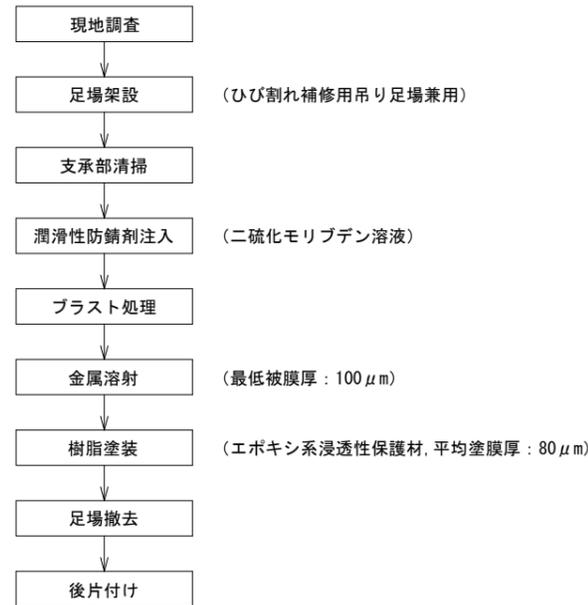
A1橋台 平面図



側面図



支承防錆処理工施工フロー



支承防錆工数量表

1基当たり		
工種	種別・規格	数量
潤滑材	二硫化モリブデン溶液	リットル 0.1
研掃材	一般用	kg 60
溶射地金	亜鉛線(アルミ合金線)	kg 1.2
上塗塗装	浸透性エポキシ樹脂塗料	kg 1
雑材	シンナー、他	式 1

支承補修工数量表

工種	種別-細別	規格	単位	算式	数量
支承補修工	支承防錆工	金属溶射 反力-110t	基	N=6	6
	沓座モルタル補修工	無収縮モルタル	m²	$V = (0.6 \times \pi + 0.30 \times 2) \times 0.003 \times 2$	0.01

【特記事項】

1. 図中の詳細寸法等は、施工時において現地調査を実施して確認すること。

A3版出力の場合、縮尺は50%となる。

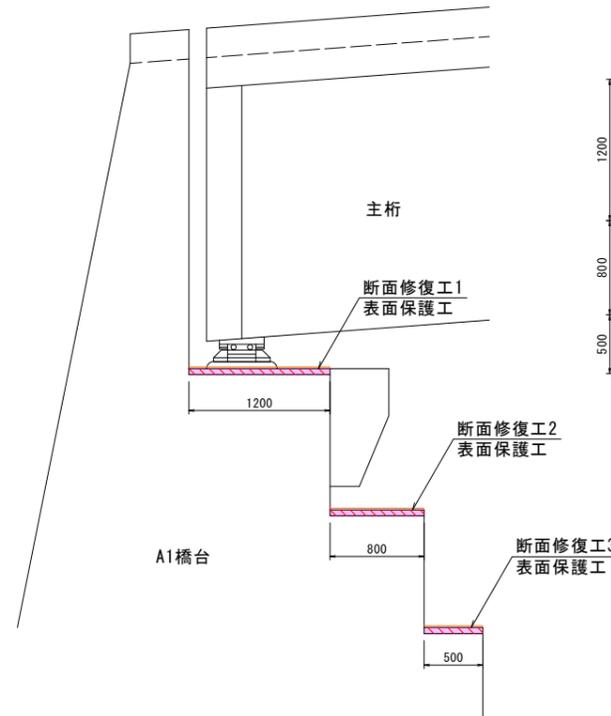
実施図

平成28年度 橋梁修繕工事			
番号	13/18	支承補修図	縮尺 図示
(国)254号 三才山トンネル有料道路 松本市三才山 野間沢橋 他2橋			
所長	課長	照査	設計
三才山トンネル有料道路管理事務所			
設計会社	(株)エスコンテック	管理技術者	山崎 賢一
		照査技術者	西澤 正勝
		主任技術者	
		主任技術者	

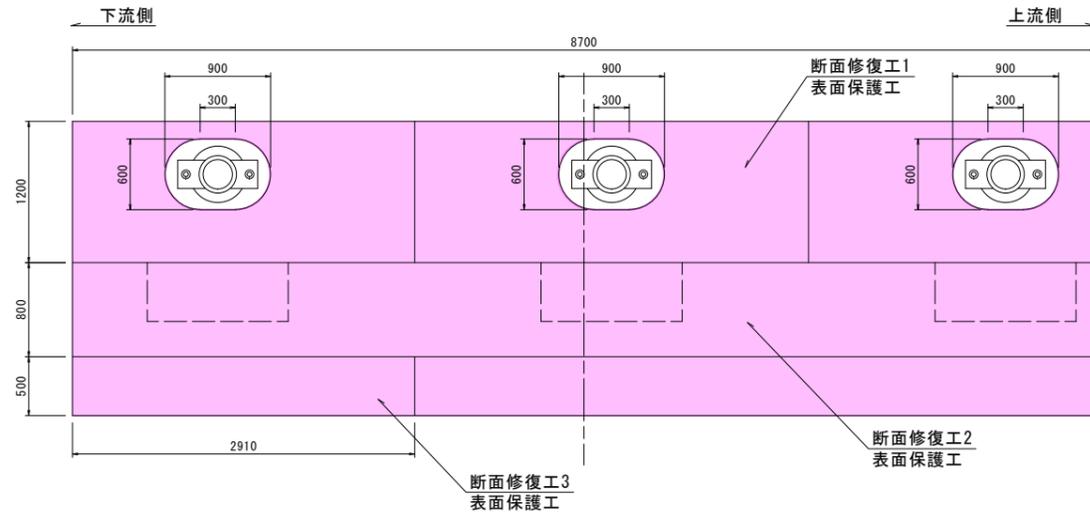
# 野間沢橋 下部工補修図(1)

## A1橋台補修工

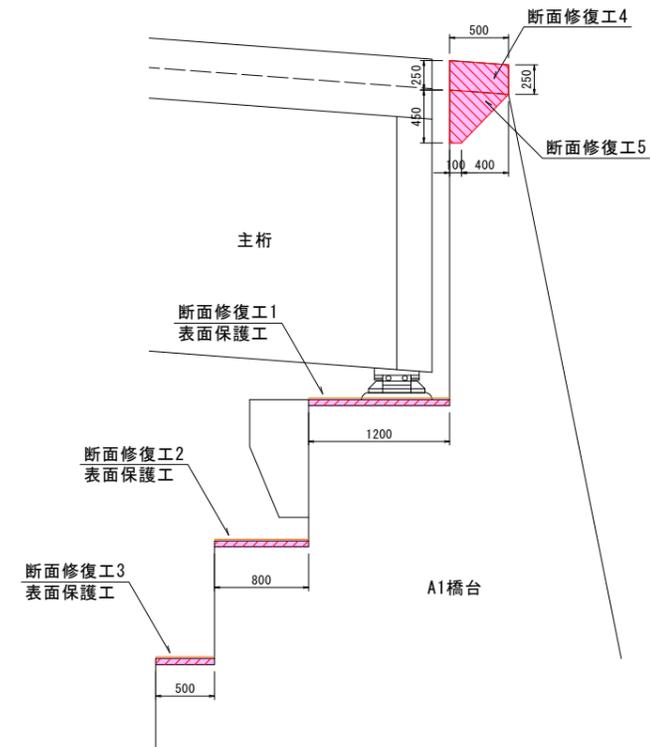
下流側側面図 S=1/30



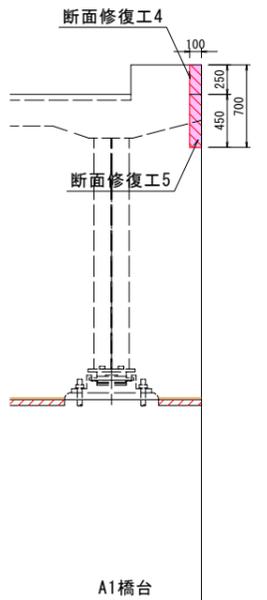
平面図 S=1/30



上流側側面図 S=1/30



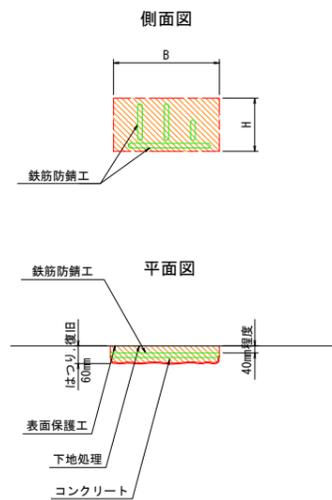
上流側正面図 S=1/30



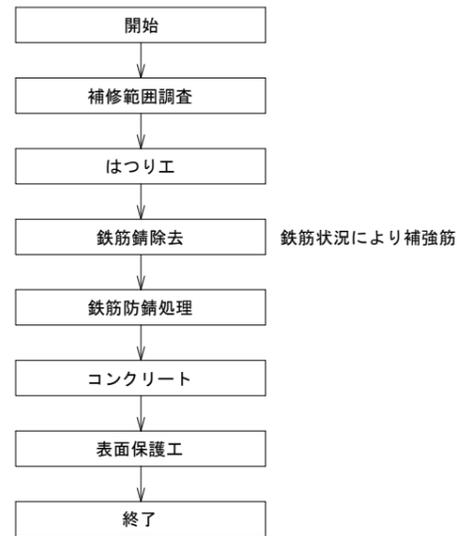
A1橋台 断面修復工寸法表

箇所	B(mm)	H(mm)	面積(m <sup>2</sup> )
1	8700	1200	10.44
2	8700	800	6.96
3	2910	500	1.46
4	500	250	0.13
5	100	450	0.14
支承	0.462×3=		1.39
合計	19.13-1.39=		17.74

断面修復工詳細図



断面修復工法の手順



A1橋台補修工数量表

工種	種別-細別	規格	単位	算式	数量
橋台補修工	はつり工	はつり深さ 60mm	m <sup>2</sup>	A=17.74	17.7
	鉄筋防錆工		m <sup>2</sup>	A=17.74 × 0.545 (m <sup>2</sup> /m <sup>2</sup> )	10.4
	コンクリート	24-8-25BB	m <sup>2</sup>	V=17.74 × 0.06 (t)	1.06
	下地処理	コンクリート研掃	m <sup>2</sup>	A=17.74	17.7
	表面保護工	含浸材塗布	シラン系	m <sup>2</sup>	

【特記事項】

- 図中の詳細寸法等は、施工時において現地調査を実施して確認すること。
- 鉄筋防錆工面積は単位面積当たりで換算して算出する。配筋は、縦横D13@150と仮定して、以下のとおり算出した。  
(コンクリート1m<sup>2</sup>当たり)  
 $A = \pi * 0.013 * (1.00/0.150 * 1.00 * 2) = 0.545m^2$

A3版出力の場合、縮尺は50%となる。

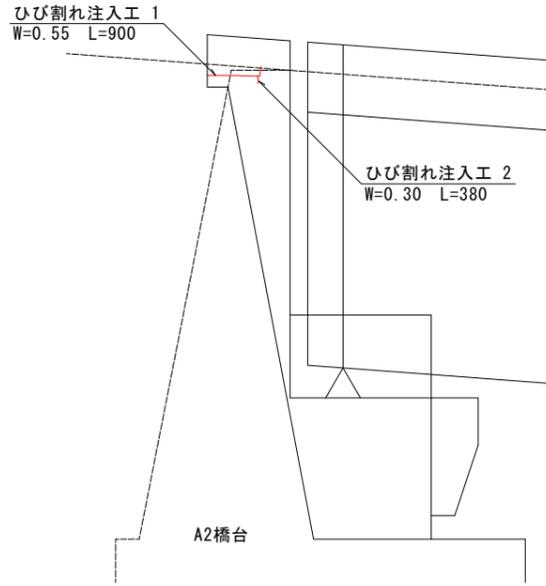
実施図

平成28年度 橋梁修繕工事			
番号	14/18	下部工補修図(1)	縮尺 図示
(国)254号 三才山トンネル有料道路			
松本市三才山 野間沢橋 他2橋			
所長	課長	照査	設計
三才山トンネル有料道路管理事務所			
設計会社	(株)エス・エス・エス	管理技術者	山崎 賢一
		照査技術者	西澤 正勝
		主任技術者	
		主任技術者	

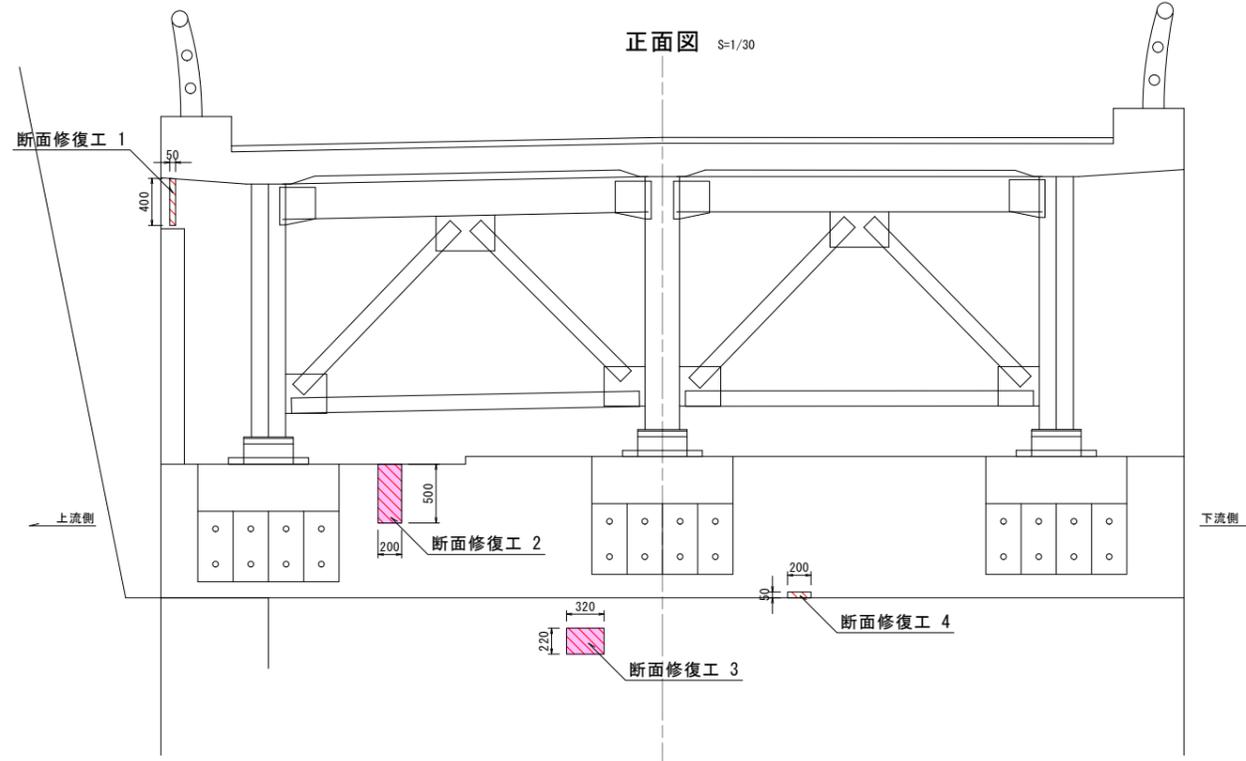
# 野間沢橋 下部工補修図(2)

## A2橋台補修工

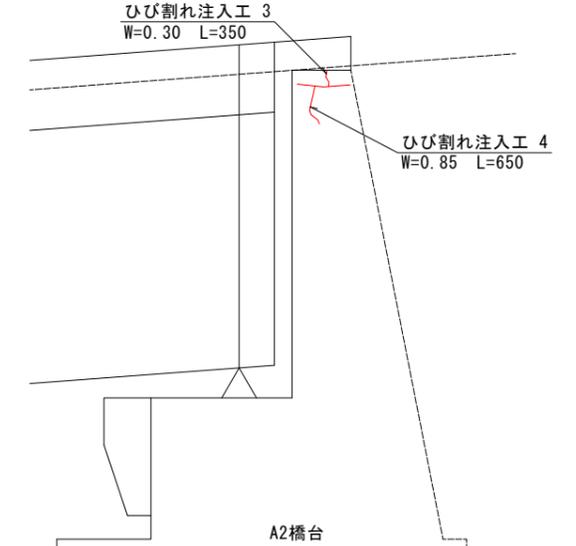
下流側断面図 S=1/30



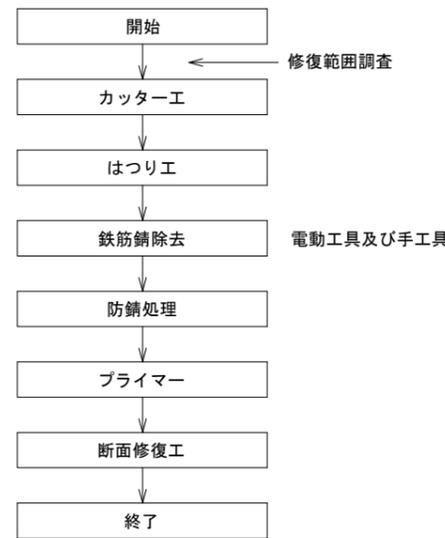
正面図 S=1/30



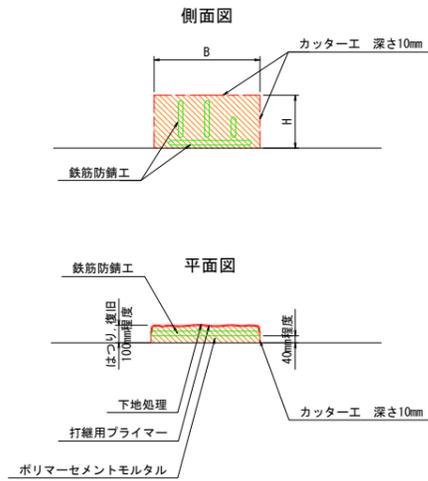
上流側断面図 S=1/30



### 断面修復工法の手順



### 断面修復工詳細図



A2橋台 断面修復工寸法表

箇所	B(mm)	H(mm)	面積 (m <sup>2</sup> )	カッター延長(m)
1	50	400	0.02	0.90
2	200	500	0.10	1.40
3	320	220	0.07	1.08
4	200	50	0.01	0.50
合計			0.20	3.88

※カッター延長の対象辺数は部位により異なる。

### A2橋台補修工数量表

工種	種別-細別	規格	単位	算式	数量
断面修復工	カッター工	深さ10mm	m	L=3.88	3.88
	はつり工	はつり深さ 60mm程度	m <sup>3</sup>	V=0.20×0.06(t)	0.012
	鉄筋防錆工	エマコ200相当	m <sup>2</sup>	A=0.20×0.545(m <sup>2</sup> /m <sup>2</sup> )	0.11
			m <sup>2</sup>	A=0.20	0.20
断面修復工	ポリマーセメント		m <sup>3</sup>	V=0.20×0.06(t)	0.012

#### 【特記事項】

- 図中の詳細寸法等は、施工時において現地調査を実施して確認すること。
- 鉄筋防錆工面積は単位面積当たりで換算して算出する。配筋は、縦横D13@150と仮定して、以下のとおり算出した。  
(コンクリート1m<sup>2</sup>当たり)  
 $A = \pi * 0.013 * (1.00/0.150 * 1.00 * 2) = 0.545m^2$

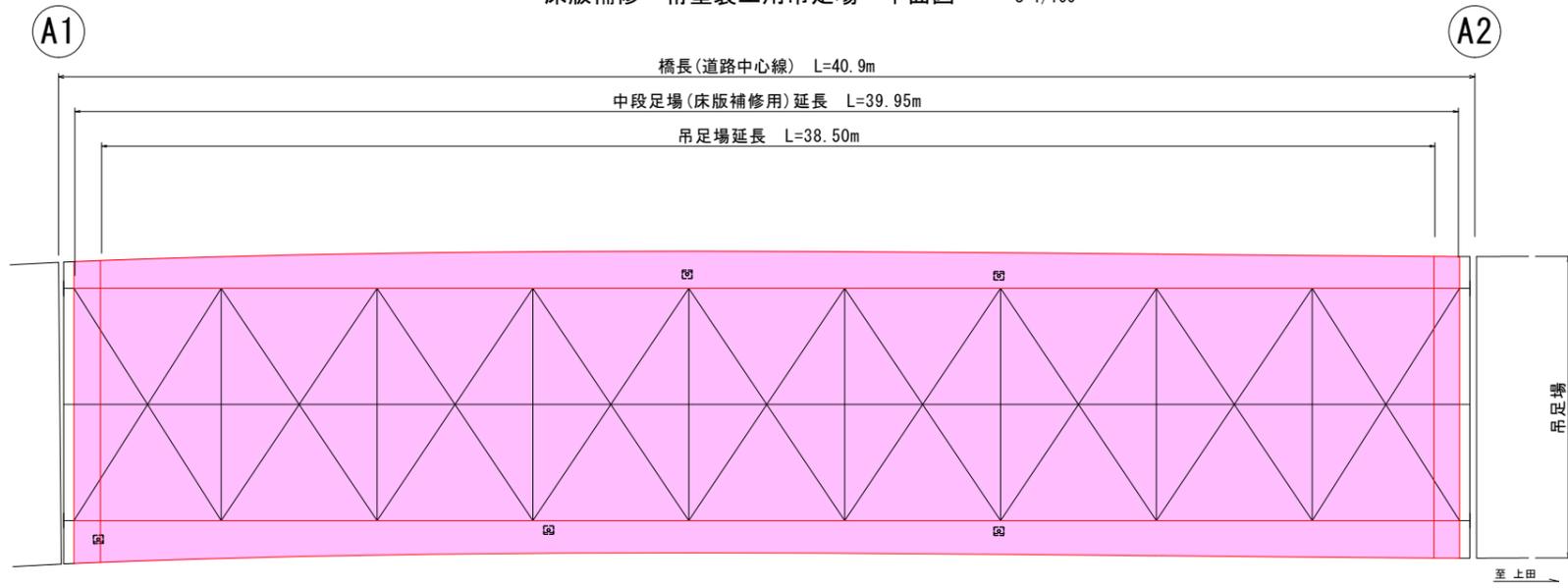
A3版出力の場合、縮尺は50%となる。

### 実施図

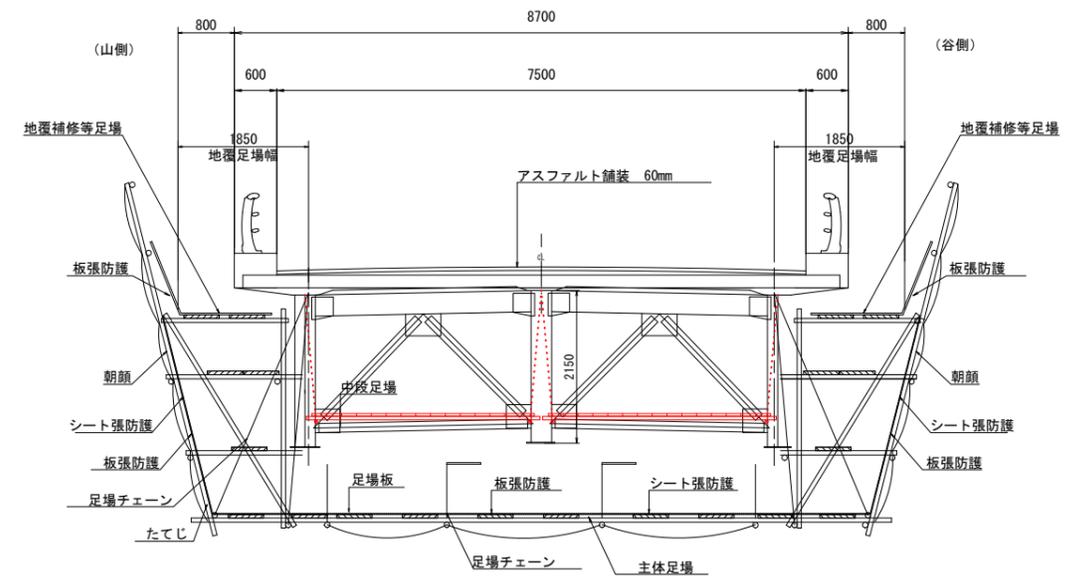
平成28年度 橋梁修繕工事			
番号	15/18	下部工補修図(2)	縮尺 図示
(国)254号 三才山トンネル有料道路			
松本市三才山 野間沢橋 他2橋			
所長	課長	照査	設計
三才山トンネル有料道路管理事務所			
設計会社	(株)エコーシステム	管理技術者	山崎 賢一
		照査技術者	西澤 正勝
		主任技術者	
		主任技術者	

# 野間沢橋 仮設工図(参考図)

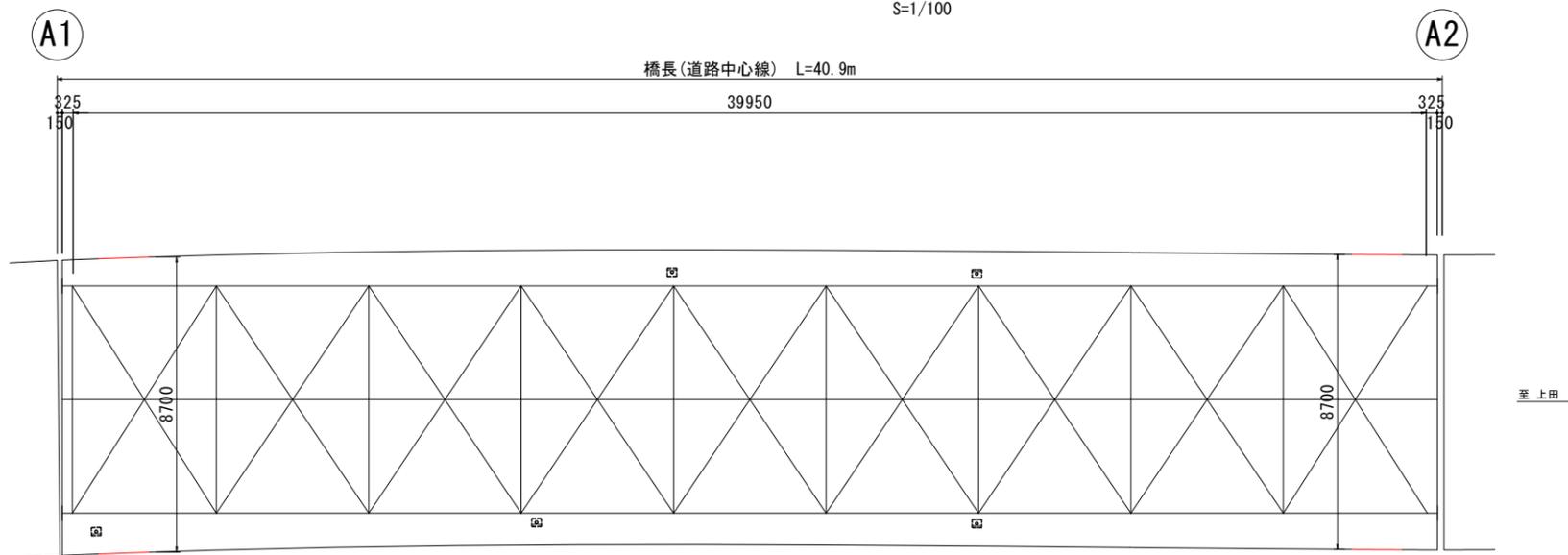
床版補修・桁塗装工用吊足場 平面図 S=1/100



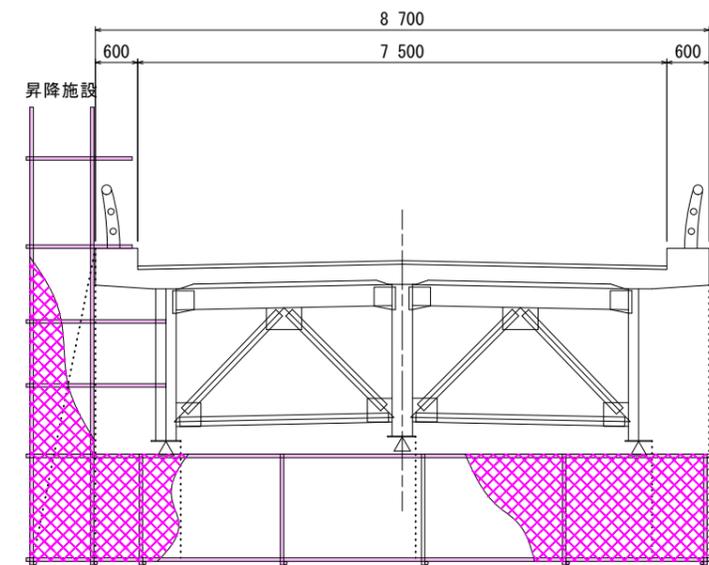
断面図 S=1:50



S=1/100



S=1/50



仮設工数量表

工種	種別-細別	規格	単位	算式	数量
足場工	桁塗装・床版補修用	吊足場	m <sup>2</sup>	A=8.70×39.95	347.6
		中段足場	m <sup>2</sup>	A=8.70×39.95	347.6
		朝顔・板張防護	m <sup>2</sup>	A=8.70×39.95	347.6
	地覆補修用	吊足場・板張防護	m <sup>2</sup>	A=1.85×38.50×2	142.5

**【特記事項】**

1. 図中の詳細寸法等は、施工時において現地調査を実施して確認すること。

A3版出力の場合、縮尺は50%となる。

**実施図**

平成28年度 橋梁修繕工事			
番号	16/18	仮設工図(参考図)	縮尺 図示
(国)254号 三才山トンネル有料道路 松本市三才山 野間沢橋 他2橋			
所長	課長	照査	設計
三才山トンネル有料道路管理事務所			
設計会社	(株)エコンテック	管理技術者	山崎 賢一
		照査技術者	西澤 正勝
		主任技術者	
		主任技術者	